

# チョットきてコール

( 受信機 )

【型 式 : TCRⅢ】

【型 式 : TCRmini】

【型 式 : TCRbasic】

## 取扱説明書

## 目次

■	目次.....	2
■	はじめに.....	4
■	注意事項.....	5
□	使用上の注意 □.....	5
□	電波法に関する注意事項 □.....	5
□	故障とアフターサービス □.....	5
■	各部の名称及び外観.....	6
□	各部の名称 □.....	6
■	使用方法.....	7
■	液晶表示器・設定.....	9
□	表示の基本 □.....	9
□	設定 □.....	10
◆	設定の基本操作.....	10
◆	メッセージ再生.....	11
◆	受信レベルモニタ.....	13
◆	定期放送の設定.....	16
◆	メッセージ繰り返し間隔の設定.....	18
◆	開店時刻と閉店時刻の設定.....	19
◆	開店直前・開店前・閉店直前・閉店前時刻の設定.....	21
◆	現在時刻の設定.....	23
◆	出荷時設定.....	25
◆	システムエラー表示.....	26
◆	定時放送の設定.....	27
◆	BGMの設定.....	29
◆	言語切り替えの設定.....	31
□	設定（シークレット設定） □.....	33
◆	シークレット設定の基本操作.....	33
◆	送信機通信断認識時間の設定.....	34
◆	TCⅡ-S送信機の登録.....	35
◆	RTリモコンの登録.....	40
◆	周波数の設定.....	43
◆	受信電文モニタの表示.....	45
◆	SDカード情報の表示.....	46
◆	テスト音声の出力.....	47
◆	ジングルボリュームの設定.....	48

◆ 受信ログの設定.....	49
◆ シリアルコンソールの設定.....	50
◆ ノイズフロアの設定.....	51
◆ 設定内容のセーブ(保存)とリストア(復旧).....	52
◆ リモコンモードの設定.....	54
◆ 拡張リレー基板使用の設定.....	55
◆ 減るとコール接続時の設定.....	56
◆ 送信機から応答のみ受信時の動作設定.....	58
◆ 有線接続メッセージ再生中のキャンセル機能の設定.....	59
◆ 外部スイッチ（E X O 4）を連続発信モードで使用する時の設定.....	60
□ コントラスト調整 □.....	61
■ 音声カード.....	62
□ 使用可能なカード □.....	62
□ フォーマット □.....	62
□ 音声ファイル格納フォルダ □.....	62
□ 音声ファイル □.....	63
■ 外部接続.....	64
□ ライン出力 □.....	64
□ マイク出力 □.....	64
□ マイク入力（マイクミキサー） □.....	64
□ アンテナ入力 □.....	64
□ 音声割込み(Busy 信号) □.....	65
□ 有線入力 □.....	65
■ 故障かな?と思ったら.....	66
■ 仕様.....	69
□ 外観図 □.....	69
□ 仕様一覧 □.....	70
□ 付属品 □.....	70

## ■ はじめに

本システムは、店舗や工場などでお客様や作業員からの呼び出しを無線を利用して行うものです。店舗内の切り売りコーナーなど、店員がお客様と接する機会が多い場所などに呼び出し用の送信機を設置していただきます。

お客様が送信機の「呼出ボタン」を押されると、無線を通じて事務所等に設置された受信機に知らされます。

受信機は信号を受け取ると、呼び出された場所の送信機の番号を液晶表示器に表示し、呼び出された事を事務所内にいる人に知らせます。

また、受信機にはラインレベル出力端子とマイクレベル出力端子を設けていますので、放送設備などのラインまたはマイクレベル入力端子へ繋ぐ事により店内・工場内へ呼び出しのアナウンスを流す事ができます。

設定された時間間隔で最大 5 種類のメッセージや音楽を流す「定期放送」機能があります。

また設定された時刻にメッセージや音楽を流す「定時放送」機能があります。  
この機能は 4 個まで設定できます。

さらに、設定された時刻～時刻までの間メッセージや音楽を流す「BGM」機能があります。  
この機能は 12 個まで設定できます。

以下に、本システム導入による効果と特徴を記します。

- ・ お客様の呼び出しに、迅速に対応する事が可能になるのでお客様をお待たせしません。
- ・ 工場などでのトラブル発生時に、迅速に対応できます。
- ・ お客様をお待たせしないので、他店との差別化になります。
- ・ 売り場に常駐する必要がありませんので、人手を削減する事ができます。
- ・ 無線を利用していますので、送信機と受信機間の配線が不要です。
- ・ 配線が不要ですので、送信機の移動などレイアウトに幅が広がります。
- ・ 特定小電力無線を使用していますので、免許が不要です。
- ・ 見通しの良い場所ならば、約 100m まで使用できます。
- ・ 受信機 1 台に対し、最大 99 CH の送信機の増設が可能です。

## ■ 注意事項

### □ 使用上の注意 □

- 本製品を使用したことによって生じた、いかなる二次的損害に対しても一切の責任は負いません。
- 電波障害や故障等で連絡できなく被害が発生いたしましても、賠償責任は負いませんのでご了承願います。
- 本製品を当社指定修理技術者以外が分解、修理、改造することは絶対に行わないで下さい。
- 本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- 本製品は防爆型ではありません。
- 本製品は防水仕様ではありませんので、雨、雪のあたる場所での使用は避けてください。また、結露させないで下さい。
- 酸、アルカリ、有機溶剤、腐食性ガス等の影響を受ける環境では使用しないでください。
- 定められた電圧で使用して下さい。使用範囲外の電圧で使用すると、故障の原因になります。
- 機器の汚れは、柔らかい乾いた布で拭いてください。汚れがひどい時は、水に浸した布を固くしぼってから拭きます。ベンジン、シンナーなどは使用しないで下さい。
- ご使用の前には「取扱説明書」を全て読み終わり熟知した後、ご使用ください。

### □ 電波法に関する注意事項 □

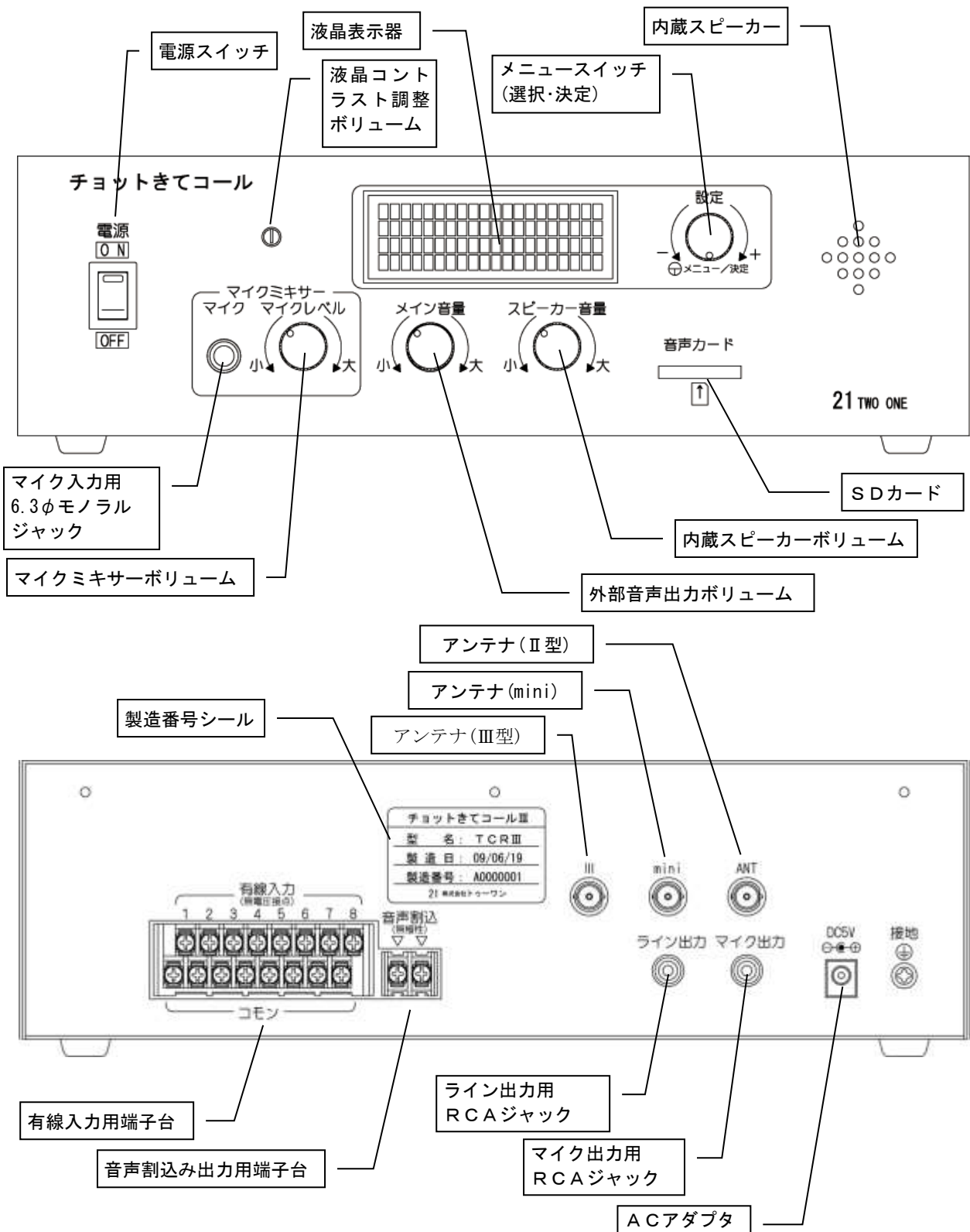
- 無線ユニットの分解、改造はしないで下さい。分解、改造は法律で禁止されています。
- 無線ユニットの技術基準適合証明ラベルは、剥がさないで下さい。ラベルの無いものは使用が禁止されています。
- この製品は、外国の電波法には準じておりません。日本国内で使用して下さい。

### □ 故障とアフターサービス □

- 本製品の無償修理保証期間は、お買い上げの日から1年間といたします。修理の際は、故障の内容や状況をなるべく詳しくお知らせください。

## ■ 各部の名称及び外観

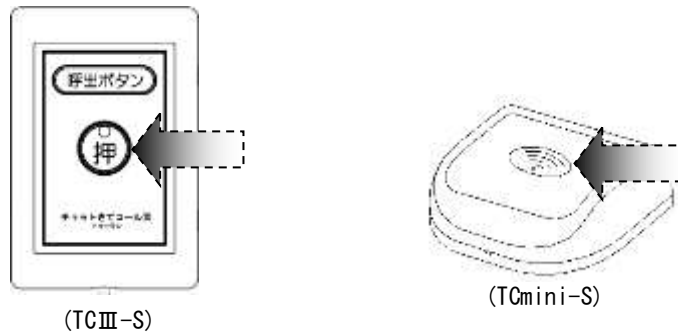
### □ 各部の名称 □



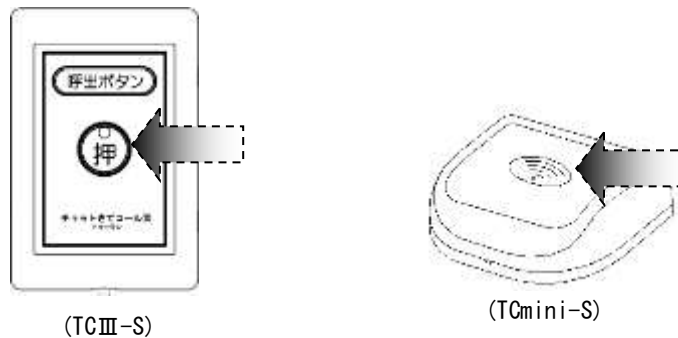
## ■ 使用方法

基本的な使用方法、動作の流れを以下に記します。

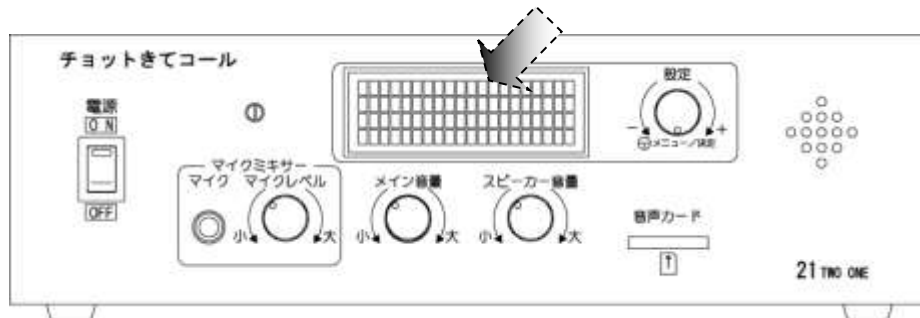
1. お客様は、各売り場に設置された送信機の「呼出ボタン」を押します。



2. 「呼出ボタン」を押しますと、呼出ボタンのランプが点滅します。（呼び出し中状態）  
 (TCIII-S 送信機の呼出ボタンのランプは、通常 0.5 秒間隔で点滅しますが、電池残量が低下すると高速点滅に変わり、電池交換時期が一目でわかるようになっています)  
 (TCmini-S 送信機は、呼出ボタンを押した時に一度だけランプが光ります)



3. 受信機の液晶表示器に呼び出した送信機のCH番号が表示されます。



液晶表示器の1行目と2行目にはTCIII-SとTCmini-Sからの呼び出しの時は、2桁のCH番号が表示されます。

TCIII-SのオプションSWボックスからの呼び出しの時も、同様に2桁のCH番号が表示されます。

受信機本体背面の有線入力からの呼び出しの時は、「>1」～「>8」で表示されます。

なおTCIII-SとTCmini-Sの電池残量が少ないときは、2桁のCH番号表示の下にアンダーラインが点滅して、送信機の電池交換時期を知らせます。

3行目には最後に再生した音声のファイル名称が表示されます。

4行目には現在日時が表示されます。

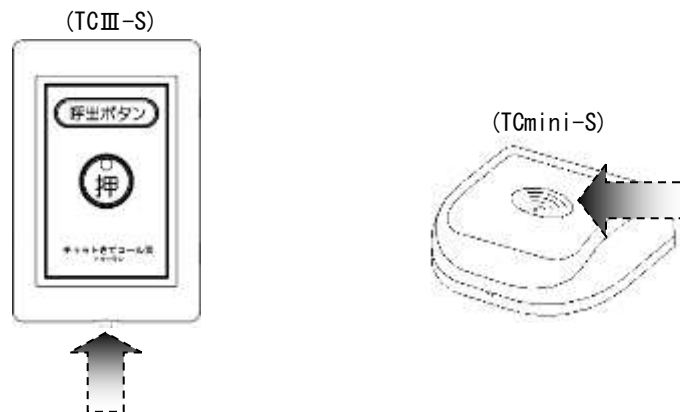
4. 店内放送設備に接続されている場合は、店内放送が流れます。

（例）「ピンポ～ン♪ ○○コーナーでお客様がお待ちです。係員は入ってください。」

店内放送は店員が「対応ボタン」を押すまで、設定時間（1秒～99秒間隔）間隔で繰り返して流れます。

（単発モードの送信機からの呼び出しの場合は、店内放送が一度だけ流れ液晶表示器の送信機CH番号は消えます）

5. 店員は、店内放送が流れたら、呼び出しのあった売り場へ向かい送信機の「対応ボタン」を押します。対応したことを知らせる店内放送が一度だけ流れます。



（例）「○○コーナー、係員が入りました。」

（単発モードの送信機からの呼び出しの場合は、この操作は不要です）

（TCmini-S 送信機はダブルクリック操作にて対応となります。呼び出しボタンをポンポンと2回押してください）

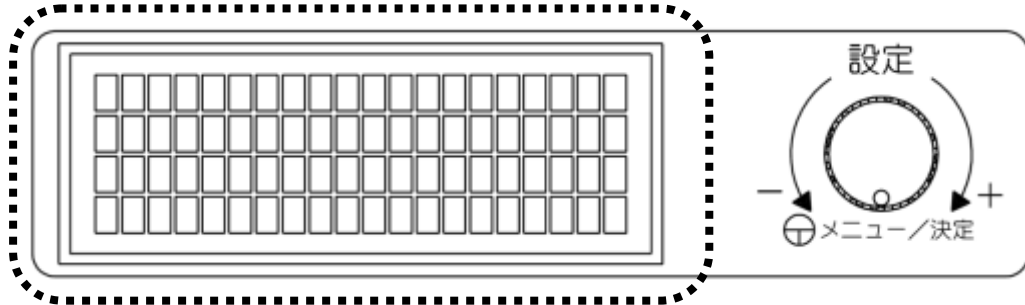
以上で、一連の流れは完了です。



## ■ 液晶表示器・設定

### □ 表示の基本 □

受信機中央付近に、液晶表示器があります。この表示器に各種設定や情報が表示されます。

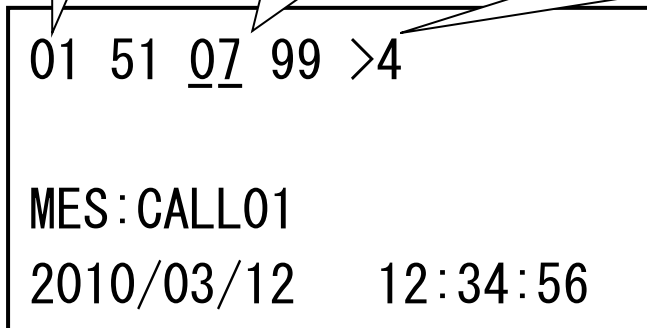


電源を入れると、液晶表示器にメイン画面が表示されます。メイン画面の表示内容は以下のとおりです。

現在呼び出されている送信機の番号

電池残量の少なくなった送信機から呼び出しがあると、送信機の番号の下に、アンダーラインが点滅表示されます。

受信機本体背面の有線入力からの呼び出しの時は、「>」の後に 1桁で入力があった番号が表示されま



現在呼び出されている送信機の番号を表示します。(最大14ヶ)

⇒ 最後に再生した音声ファイルの名称が表示されます。(一度も音声を再生していないときは「\*\*\*\*\*」表示、ファイルが存在しない場合は「ファイルアリマゼ!」表示になります)

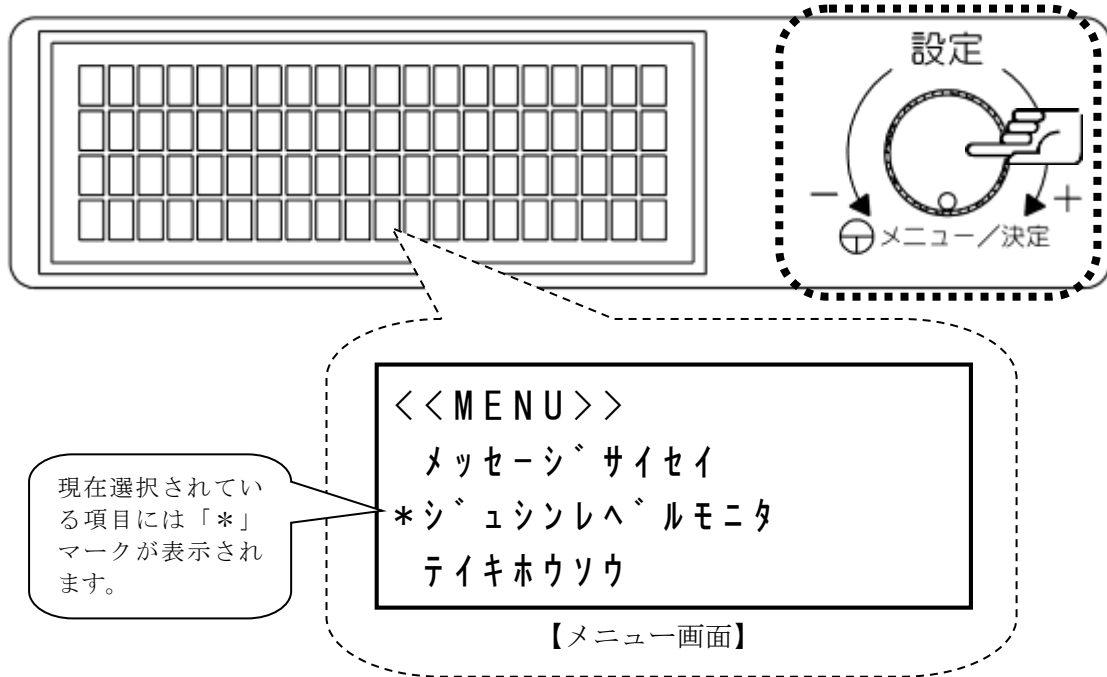
⇒ 現在日時が表示されます。

## □ 設定 □

### ◆ 設定の基本操作

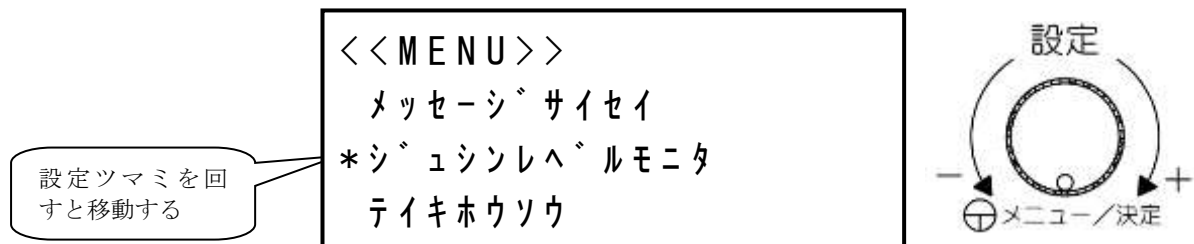
液晶表示器の右側にある設定つまみにて、各種設定・表示ができます。

トップ画面が表示されている状態で、設定つまみを押してください。メニュー画面へ移行します。

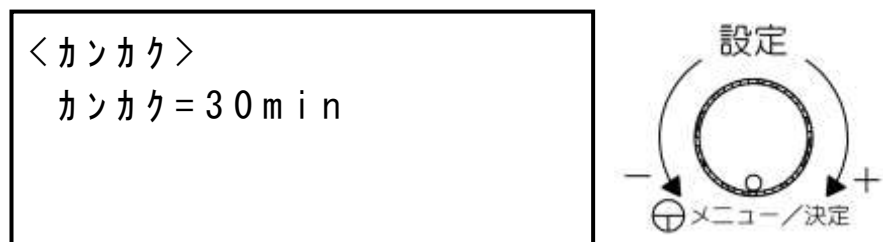


設定つまみを「+」方向へ回すと「\*」が下へ移動していきます。「-」方向へ回すと「\*」が上へ移動していきます。

メニュー画面の状態でも約1分間何も操作しないと、自動的にトップ画面へ戻ります。



設定したい項目に設定つまみを回して「\*」を合わせたら、設定つまみを押してください。



メニュー項目の選択を進める場合や、設定値を増やす場合は設定つまみを「+」へ回し、メニュー項目の選択を戻す場合や、設定値を減らす場合は設定つまみを「-」へ回します。項目や設定値の決定は設定つまみを押します。

◆ メッセージ再生

音声カードに登録されているメッセージのテスト再生ができます。

【手順1】

トップ画面より「設定ツマミ」を押してメニュー画面を表示し、「設定ツマミ」を回して『メッセージサイセイ』を選択します。選択したら「設定ツマミ」を押してください。

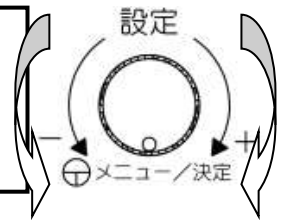
<<MENU>>  
\*メッセージサイセイ  
ジュシヨレベルモニタ  
テイキホウソウカンカク



【手順2】

メッセージ再生をしたい項目を「設定ツマミ」を回して選択します。

<<メッセージサイセイ>>  
\*ヨビダシ  
オウトウ  
ガイフ SW ヨビダシ



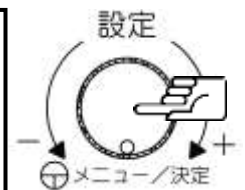
再生可能なメッセージの種類は以下の通りです。

- ・ ヨビダシ ⇒ 送信機の呼出ボタンが押された時のメッセージ 『CALL01. mp3～CALL99. mp3』
- ・ オウトウ ⇒ 送信機の対応ボタンが押された時のメッセージ 『DELL01. mp3～DELL99. mp3』
- ・ ガイフ SW ヨビダシ ⇒ 送信機のオプションSWボックスが押された時のメッセージ  
『EXTC01-1. mp3～EXTC99-4. mp3』
- ・ ユウセンツツクヨビダシ ⇒ 受信機の有線入力端子台に入力された時のメッセージ  
『CBLC01. mp3～CBLC08. mp3』
- ・ テイキホウソウ ⇒ 定期放送用のメッセージ 『REG01. mp3～REG05. mp3』
- ・ カイテン ⇒ 開店時刻に流すメッセージ 『OPEN01. mp3』
- ・ カイテンチョクゼン ⇒ 開店直前時刻に流すメッセージ 『OPEN02. mp3』
- ・ カイテンマエ ⇒ 開店前時刻に流すメッセージ 『OPEN03. mp3』
- ・ ヘイテン ⇒ 閉店時刻に流すメッセージ 『CLOSE01. mp3』
- ・ ヘイテンチョクゼン ⇒ 閉店直前時刻に流すメッセージ 『CLOSE02. mp3』
- ・ ヘイテンマエ ⇒ 閉店前時刻に流すメッセージ 『CLOSE03. mp3』
- ・ テイジホウソウ ⇒ 毎日同じ時刻に流すメッセージ 『SCREG01. mp3～SCREG04. mp3』

【手順3】

選択しましたら「設定ツマミ」を押してください。

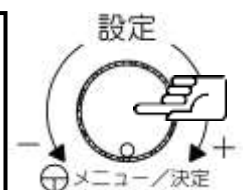
<<メッセージサイセイ>>  
\*ヨビダシ  
オウトウ  
ガイフ SW ヨビダシ



【手順4】

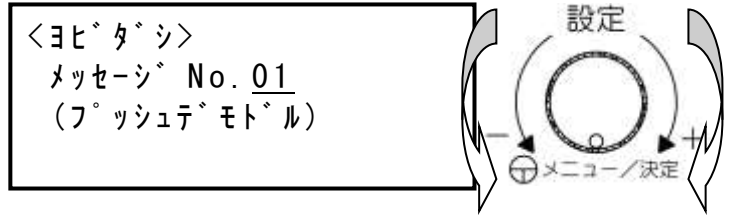
『メッセージ No.』が選択されていることを確認し、「設定ツマミ」を押してください。

<<ヨビダシ>>  
\*メッセージ No.  
モデル



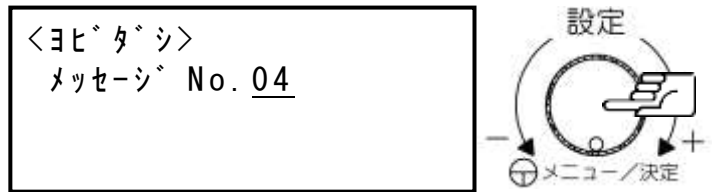
【手順5】

カーソルがメッセージ番号で点滅しています。「設定ツマミ」を回して再生したいCH番号を表示させます。



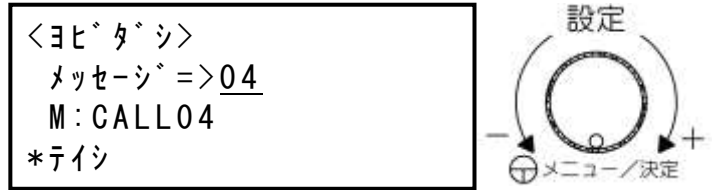
【手順6】

再生したいCH番号が表示されていることを確認して、「設定ツマミ」を押してください。



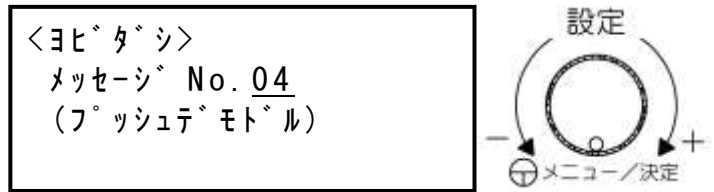
【手順7】

選択した音声再生されます。再生中にメッセージを停止したい場合は『テイシ』が自動的に選択されていますので「設定ツマミ」を押してください。



【手順8】

再生が終わると【手順5】に戻ります。続けてメッセージの再生をしたい場合は【手順6】より繰り返してください。終了する場合は「設定ツマミ」を押すと、前の画面へ戻ります。



◆ 受信レベルモニタ

送信機または中継器から電波を受けた時の電波の強さを表示します。

【手順1】

トップ画面より [設定ツマミ] を押してメニュー画面を表示し、 [設定ツマミ] を回して『デュシレベルモニタ』を選択します。選択しましたら [設定ツマミ] を押してください。

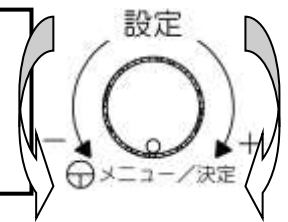
<<MENU>>  
 メッセージサイセイ  
 \*デュシレベルモニタ  
 テイキホウソウカンカク



【手順2】

[設定ツマミ] を回して、送信機または中継機のCH毎に表示したい場合は『CH コトニヒョウジ』を、また受信した順に表示したい場合は『デュシジユンニヒョウジ』をたい項目を選択します。

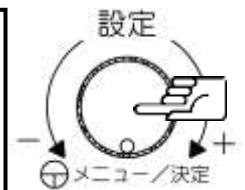
<デュシレベルモニタ>  
 \*CH コトニヒョウジ  
 デュシジユンニヒョウジ  
 モトヾル



【手順3】

選択しましたら [設定ツマミ] を押してください。

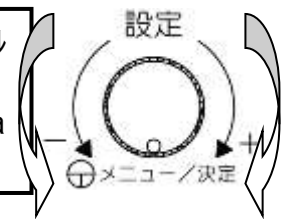
<デュシレベルモニタ>  
 \*CH コトニヒョウジ  
 デュシジユンニヒョウジ  
 モトヾル



【手順4】

『CH コトニヒョウジ』を選択した場合は、CH01～CH99 が送信機の CH 番号、また RP01～RP99 が中継器の CH 番号に対応して表示されます。 [設定ツマミ] を回して、該当する CH 番号を表示させてください。

<デュシレベルモニタ> \*モトヾル  
 CH01 [B+] : ■■■■■■■■ 81  
 CH02 [B-] : ■■■■■■ 6a  
 CH03 [ ] :



CH 番号を表示  
 「CH01～99」…送信機 CH1～99  
 「RP01～99」…中継器 CH1～99

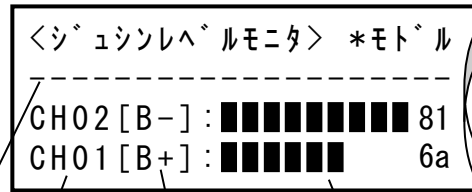
受信レベルを 0～9 の 10 段階で表示

送信機の電池の状態を表示  
 「B+」…電池残量あり  
 「B-」…電池残量少ない  
 「AC」…中継器は AC 固定

『ジ ュ シ ン ジ ャ ン ニ ヨ ウ ジ 』 を 選 択 し た 場 合 は、 受 信 し た 順 に 下 か ら 表 示 さ れ ま す。 一 番 下 の 行 が 最 新 の 情 報 で す。

未受信時は「-」が表示されます。

CH 番号を表示  
「CH01～99」・・・送信機 CH1～99  
「RP01～99」・・・中継器 CH1～99

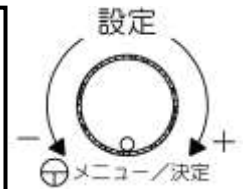
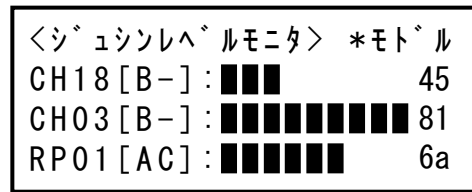


受信レベルを 0～9 の 10 段階で表示

送信機の電池の状態を表示  
「B+」・・・電池残量あり  
「B-」・・・電池残量少ない  
「AC」・・・中継器は AC 固定

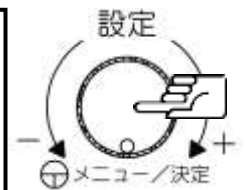
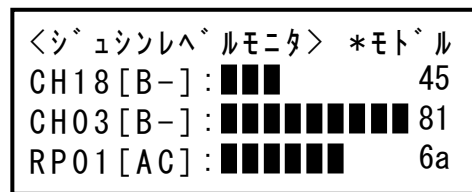
新しい受信をすると、上方向へスクロールして表示されます。常に一番下の行が最新の情報は、ここが最新の情報 ⇒

ここが最新の情報 ⇒



【手順5】

終了する場合は「設定ツマミ」を押すと、前の画面へ戻ります。



【受信レベルモニタの詳細説明】

受信レベルは 0～9 の 10 段階のグラフ表示で表され、表示が少ないほど受信レベルが低く、逆に多いほど受信レベルが高いという事になります。

但し、電波は周囲の環境に非常に左右されやすい為、送信機の設置の場合等の目安として、本受信レベルモニタをご使用ください。

例えばグラフ表示がゼロの場合でも、受信できる事がありますし、逆に 9 個全部が表示されるくらい受信レベルが高くても、周辺の環境が悪いと電波が正常な情報として認識されず、すなわち受信できない状態になることもあります。

実際に送信機を設置する際は、何回か発報して見てミスなく受信できる事を確認して下さい。


受信レベルモニタのグラフの後ろには、受信レベルを数値で表示しています。

数値は 16 進数で表現されています。数値が大きいほど受信レベルが高い事になります。

**16進数とは・・・**

アラビア数字には「0」から「9」までの 10 種類の文字しかないため、10 から 15 までの数を表現するために「A」から「F」までの 6 つのアルファベットを代用します。「A」が 10 進数でいう「10」に、B が 11 に、C が 12 に、D が 13 に、E が 14 に、F が 15 に対応する。16 になると桁が一つ繰り上がって「10」になります。

それでは、受信レベルの数値とグラフの関係を下記にて説明します。

グラフの数	数値表現(16進数)		受信レベル
	TCSⅢ型	TCmini-S型	
0	40 以下	44 以下	電波レベルが弱いため 設置場所の変更等の対 策が必要 
	41	45	
1	4C	50	
2	57	5B	
3	62	63	
4	6D	6B	
5	78	76	
6	83	81	
7	8E	87	
8	99	8C	
9	A4	94	

◆ 定期放送の設定

定期放送を流す間隔を、5分/10分/15分/20分/30分/60分/OFFで設定します。

「OFF」に設定すると、定期放送は流れません。

定期放送は、基準として設定された「分」を基準に、設定された間隔で流れます。

例えば、基準を「5分」に設定し、定期放送を流す間隔を「15分」に設定した場合は、毎時05分→20分→35分→50分に流れることになります。

定期放送は最大5種類まで、ここで設定された時間ごとに順番に流すことができます。

定期放送が流れている途中で、送信機の呼出ボタンが押された場合は定期放送を中断して呼び出しのメッセージを優先して流します。この場合は定期放送は次のタイミングまで流れません。

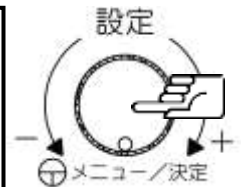
また送信機が1台でも呼び出し中に、定期放送を流す時刻になっても送信機の対応ボタンが押され、対応のメッセージが流れ終わるまでは定期放送は流れません。（定期放送を流す時刻から1分以内に対応メッセージが流れ終わらなかった場合は、次回の設定時刻まで定期放送は流れません）

開店メッセージ、閉店前・閉店直前・閉店メッセージと設定時刻が重なる場合は、開店メッセージ、閉店前・閉店直前・閉店メッセージを優先して流します。（開店メッセージ、閉店前・閉店直前・閉店メッセージが1分以内に流れ終わった場合は、引き続き定期放送が流れます）

【手順1】

トップ画面より「設定ツマミ」を押してメニュー画面を表示し、「設定ツマミ」を回して『テイキホウソウ』を選択します。選択しましたら「設定ツマミ」を押してください。

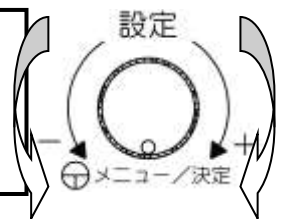
<<MENU>>  
 メッセージサイセイ  
 シュシンレベルモニタ  
 \*テイキホウソウ



【手順2】

カーソルを「かか」に合わせ「設定ツマミ」を押してください。

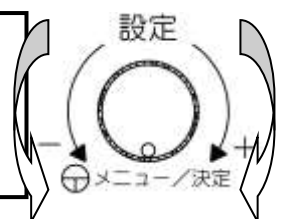
<テイキホウソウ>  
 \*カンカク  
 キシュン  
 モデル



【手順3】

カーソルが現在の設定時間で点滅しています。「設定ツマミ」を回して設定したい時間に合わせます。

<カンカク>  
 カンカク=60min

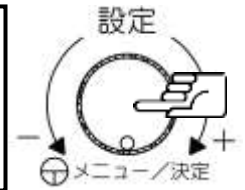




【手順4】

確認メッセージが表示されます。  
 変更を保存して終了する場合は  
 「設定つまみ」を回して『ハイ』を  
 選択します。変更を破棄して終了  
 する場合は『イェ』選択し「設定  
 つまみ」を押してください。

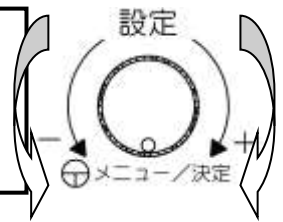
＜カンカク＞  
 カンカク=30min  
 ハンコウヲカクテイシマスカ？  
 ＊ハイ イイエ



【手順5】

カーソルを「キジ ユン」に合わせ  
 「設定つまみ」を押してください。

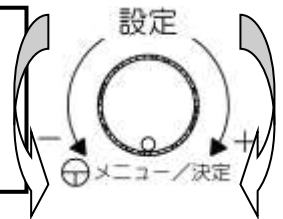
＜テイキホウソウ＞  
 カンカク  
 ＊キジ ユン  
 モデル



【手順6】

カーソルが現在の設定時間で点滅  
 しています。「設定つまみ」を回  
 して設定したい基準の分に合わせ  
 ます。

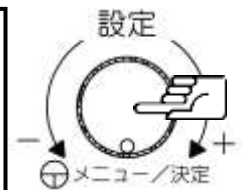
＜キジ ユン＞  
 キジ ユン=00min



【手順4】

確認メッセージが表示されます。  
 変更を保存して終了する場合は  
 「設定つまみ」を回して『ハイ』を  
 選択します。変更を破棄して終了  
 する場合は『イェ』選択し「設定  
 つまみ」を押してください。

＜キジ ユン＞  
 キジ ユン=05min  
 ハンコウヲカクテイシマスカ？  
 ＊ハイ イイエ



◆ **メッセージ繰り返し間隔の設定**

連続モードの送信機の呼出ボタンを押した時、その送信機の対応ボタンを押すまで該当するCHのメッセージをここで設定した時間（秒）で繰り返し流します。1～99 秒（1 秒間隔）で設定します。ここで設定する間隔はメッセージの再生が始まってから、次の繰り返しメッセージの再生が始まるまでの時間になります。

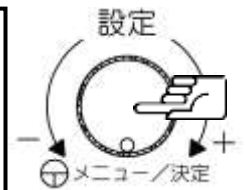
「0 秒」に設定すると、呼び出しのメッセージを一度流すだけで、メッセージの繰り返しはしません。

また、単発モードの送信機の呼出ボタンを押したときも、呼び出しのメッセージを一度流すだけで、メッセージの繰り返しはしません。

【手順1】

トップ画面より「設定ツマミ」を押してメニュー画面を表示し、「設定ツマミ」を回して『メッセージかか』を選択します。選択したら「設定ツマミ」を押してください。

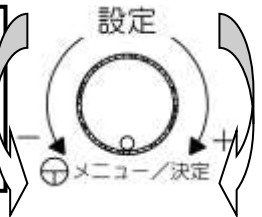
<<MENU>>  
\*メッセージ カンカク  
カイテンジ ヨク  
ハイテンジ ヨク



【手順2】

カーソルが現在の設定時間で点滅しています。「設定ツマミ」を回して設定したい時間に合わせます。

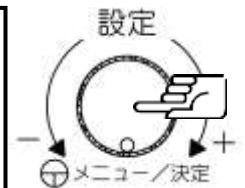
<メッセージ カンカク>  
メッセージ カンカク=30sec



【手順3】

確認メッセージが表示されます。変更を保存して終了する場合は「設定ツマミ」を回して『ハイ』を選択します。変更を破棄して終了する場合は『イヤ』選択し「設定ツマミ」を押してください。

<メッセージ カンカク>  
メッセージ カンカク=20sec  
ハコウヲカクテイシマスカ?  
\*ハイ イイ



◆ 開店時刻と閉店時刻の設定

開店時刻と閉店時刻を設定することにより、開店時刻に開店用のメッセージや音楽を、また閉店時刻に閉店用のメッセージや音楽を流すことができます。

閉店時刻を過ぎてから次の開店時刻までの間は、定期放送や呼び出し、対応などのメッセージが流れないようにになっています。閉店後も本機の電源を入れたままにしておく場合など、夜中にメッセージが流れてしまい、ご近所迷惑になるということがなくなります。

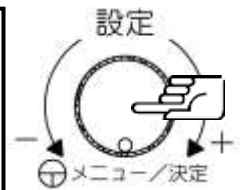
開店メッセージを流している最中に、送信機の呼出ボタンが押されても呼び出し用のメッセージは開店メッセージが終了してから流れます。

開店・閉店時刻共に「00 時 00 分」に設定すると、上記機能は働きません。

【手順 1】

トップ画面より [設定ツマミ] を押してメニュー画面を表示し、[設定ツマミ] を回して『カテナジコ』または『ヘテナジコ』を選択します。選択しましたら [設定ツマミ] を押してください。

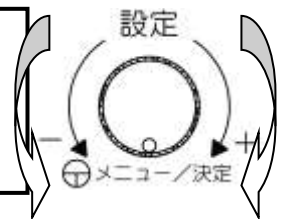
<<MENU>>  
 メッセージ カンカク  
 \*カテナジコ  
 ヘテナジコ



【手順 2】

続いて設定したい時刻の種類を選択します。開店時刻の設定の場合『カテナジコ』を選択します。選択しましたら [設定ツマミ] を押してください。

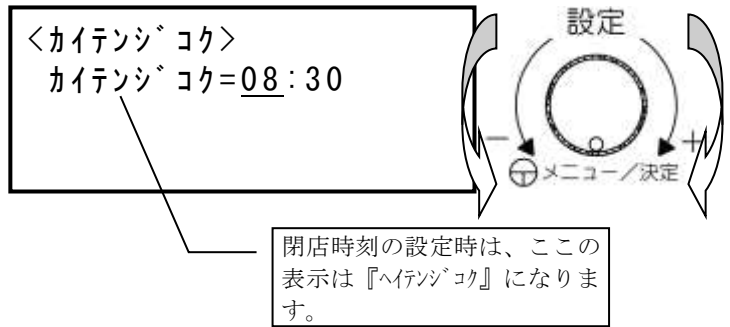
<カテナジコ>  
 \*カテナジコ  
 カテナジョクセ`ンジコ  
 カテナマエジコ



閉店時刻の設定時は、ここの表示は『ヘテナ』になります。

【手順3】

カーソルが現在の設定時刻の「時」で点滅しています。〔設定つまみ〕を回して設定したい時間に合わせます。（設定は24時間制です）設定が完了しましたら〔設定つまみ〕を押してください。



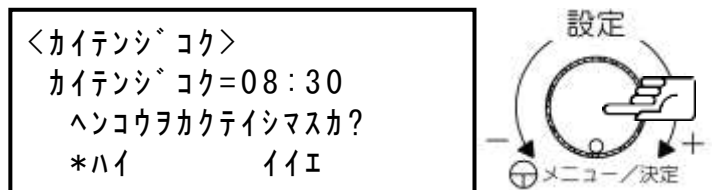
【手順4】

カーソルが現在の設定時刻の「分」で点滅しています。〔設定つまみ〕を回して設定したい時間に合わせます。設定が完了しましたら〔設定つまみ〕を押してください。



【手順5】

確認メッセージが表示されます。変更を保存して終了する場合は〔設定つまみ〕を回して『ハイ』を選択します。変更を破棄して終了する場合は『イエ』選択し〔設定つまみ〕を押してください。



◆ 開店直前・開店前・閉店直前・閉店前時刻の設定

開店直前・開店前・閉店直前・閉店前時刻を設定することにより、設定した時刻にメッセージや音楽を流すことができます。

例えば開店直前時刻に開店 5 分前などの時刻を設定します。開店前時刻にはさらに前の時刻、例えば開店 15 分前などの時刻を設定します。それぞれの時刻を設定し、対応するメッセージや音楽を SD カードに登録しておくことにより、それぞれの時刻にメッセージや音楽を流すことができます。

同じ様に閉店時刻に対しても閉店直前時刻・閉店前時刻が設定できます。

閉店前・閉店直前メッセージを流している最中に、送信機の呼出ボタンが押されても呼び出し用のメッセージは閉店前・閉店直前メッセージが終了してから流れます。

開店直前・開店前・閉店直前・閉店前時刻を「OFF」に設定または対応するメッセージや音楽が SD カードに登録されていないと、上記機能は働きません。

【手順 1】

トップ画面より [設定ツマミ] を押してメニュー画面を表示し、[設定ツマミ] を回して『カテナジコ』または『ヘテナジコ』を選択します。選択しましたら [設定ツマミ] を押してください。

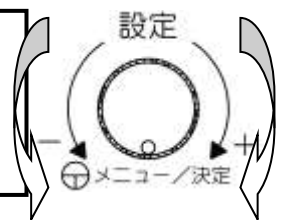
<<MENU>>  
 メッセージ カンカク  
 \*カテナジコ  
 ヘテナジコ



【手順 2】

続いて設定したい時刻の種類を選択します。開店時刻の設定の場合『カテナジコセンジコ』『カテナマエジコ』が選択できます。選択しましたら [設定ツマミ] を押してください。

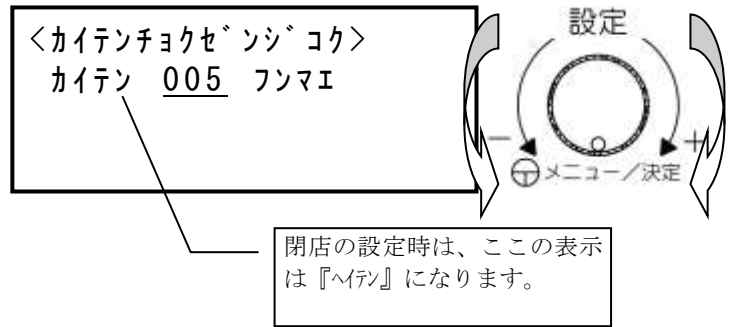
<カテナジコ>  
 カテナジコ  
 \*カテナジコセンジコ  
 カテナマエジコ



閉店時刻の設定時は、ここの表示は『ヘテナ』になります。

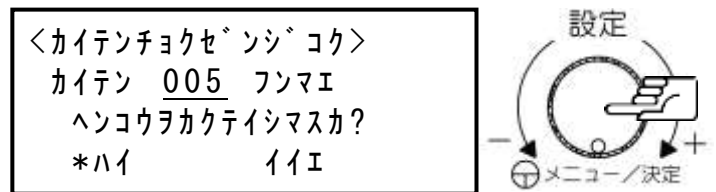
【手順3】

「設定ツマミ」を回して設定したい時間に合わせます。（設定は1分間隔で1～120分前まで設定できます。またOFFを指定すると本機能は無効になります）  
設定が完了しましたら「設定ツマミ」を押してください。



【手順4】

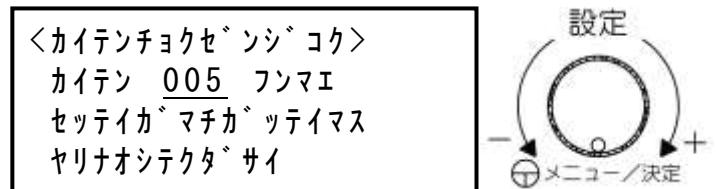
確認メッセージが表示されます。変更を保存して終了する場合は「設定ツマミ」を回して『ハイ』を選択します。変更を破棄して終了する場合は『イヤ』を選択し「設定ツマミ」を押してください。



※ 開店直前・開店前・閉店直前・閉店前時刻の設定には注意が必要です。

開店前時刻は開店直前時刻よりも早い時刻を、また開店直前時刻は開店時刻よりも早い時刻を設定してください。

設定が間違っている場合は、変更を確定しようとした時点でエラーメッセージを表示し、約3秒後に自動的に設定値の入力画面に戻りますので、正しい値を設定し直してください。



◆ 現在時刻の設定

現在時刻の設定をします。

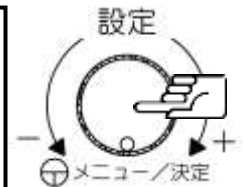
本機の時計は本体の電源を切ってから 1 日間程度はバックアップされますが、それを超えま  
すと時計が狂ってしまいます。

本機を設置時または長時間本機の電源を OFF していた場合、また定期的に現在時刻の設定を  
行ってください。

【手順 1】

トップ画面より [設定ツマミ] を  
押してメニュー画面を表示し、  
[設定ツマミ] を回して『ジコセッ  
テイ』を選択します。選択しまし  
たら [設定ツマミ] を押してくださ  
い。

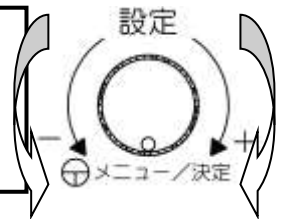
<<MENU>>  
\*ジコセッテイ  
シュッカジセッテイ  
システムエラー



【手順 2】

カーソルが「西暦年の下 2 桁」で  
点滅しています。[設定ツマミ]  
を回して設定したい「年」に合わ  
せませす。設定が完了しましたら  
[設定ツマミ] を押してください。

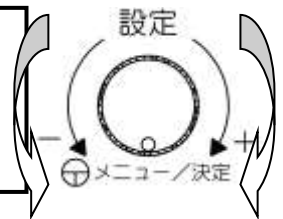
<ジコセッテイ>  
2000/01/01 00:00:00



【手順 3】

カーソルが「月」で点滅していま  
す。[設定ツマミ] を回して設定  
したい「月」に合わせませす。設定  
が完了しましたら [設定ツマミ]  
を押してください。

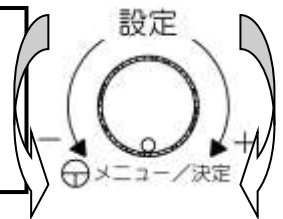
<ジコセッテイ>  
2009/01/01 00:00:00



【手順 4】

カーソルが「日」で点滅していま  
す。[設定ツマミ] を回して設定  
したい「日」に合わせませす。設定  
が完了しましたら [設定ツマミ]  
を押してください。

<ジコセッテイ>  
2009/09/01 00:00:00



【手順5】

カーソルが「時」で点滅しています。「設定つまみ」を回して設定したい「時」に合わせます。設定が完了しましたら「設定つまみ」を押してください。



【手順6】

カーソルが「分」で点滅しています。「設定つまみ」を回して設定したい「分」に合わせます。設定が完了しましたら「設定つまみ」を押してください。



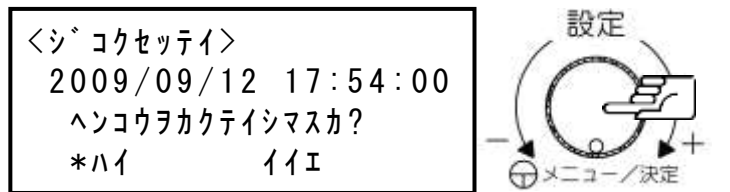
【手順7】

カーソルが「秒」で点滅しています。「設定つまみ」を回して設定したい「秒」に合わせます。設定が完了しましたら「設定つまみ」を押してください。



【手順8】

確認メッセージが表示されます。変更を保存して終了する場合は「設定つまみ」を回して『ハイ』を選択します。変更を破棄して終了する場合は『イェ』選択し「設定つまみ」を押してください。



※ 現在時刻を設定する場合、「ハンコウヲカクテイシマスカ?」の確認メッセージの後に「ハイ」を選択し設定つまみを押した瞬間に、設定画面で設定した時刻が書き込まれます。



◆ 出荷時設定

設定内容を、出荷時の状態に戻します。

ご購入後初めて電源を入れる際や、長時間電源を入れなかった場合など、設定内容が不定になっている場合があります。この場合に出荷時設定を行うことにより、デフォルトの設定値に簡単に戻すことができます。

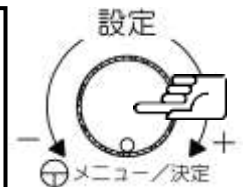
出荷時設定を実行しますと、各設定値は以下のとおりです。

項目	値
定期放送間隔	OFF
定期放送基準時間（分）	00分
メッセージ繰り返し間隔	30秒
開店時刻	00時00分
開店直前時刻	OFF
開店前時刻	OFF
閉店時刻	00時00分
閉店直前時刻	OFF
閉店前時刻	OFF
送信機通信断認識時間	20秒
TCⅢ-S 用周波数 CH	1

【手順1】

トップ画面より「設定ツマミ」を押してメニュー画面を表示し、「設定ツマミ」を回して『シュッカジセッテイ』を選択します。選択したら「設定ツマミ」を押してください。

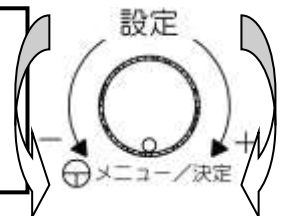
<<MENU>>  
ジ`コクセッテイ  
\*シュッカジ`セッテイ  
システムエラー



【手順2】

確認メッセージが表示されます。出荷時の状態に戻して終了する場合は「設定ツマミ」を回して『ハイ』を選択します。出荷時の設定に戻さずに終了する場合は『イエ』選択し「設定ツマミ」を押してください。

<シュッカジ`セッテイ>  
!スベ`テノセッテイヲリセットシマス!  
ヘンコウヲカクテイシマスカ?  
ハイ \*イエ



◆ システムエラー表示

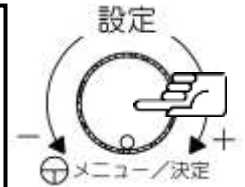
本機にトラブルがあった場合など、システムに関するエラー状態を、この画面で知ることができます。

ここでは細かい内容の説明はしませんが、本機のトラブルなどでサポートへご連絡頂いた際に、本画面の内容をお知らせいただく場合がございます。ご協力ください。

【手順1】

トップ画面より「設定ツマミ」を押してメニュー画面を表示し、「設定ツマミ」を回して『システムエラー』を選択します。選択しましたら「設定ツマミ」を押してください。

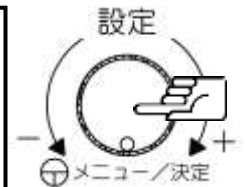
<<MENU>>  
ジコクセッテイ  
シュツカジセッテイ  
\*システムエラー



【手順2】

現在のシステムエラーの内容が表示されます。終了する場合は「設定ツマミ」を押してください。

システムエラー SELF:0000  
SDCTRL ERROR:0000  
VSCTRL ERROR:0000  
FTCTRL ERROR:0000



システムエラー SELF・・・起動時の自己診断結果  
SDCTRL ERROR・・・SDカードに関するエラー  
VSCTRL ERROR・・・音声回路に関するエラー  
FTCTRL ERROR・・・ファイルフォーマットに関するエラー

※全て「0000」表示が正常な状態です。

◆ 定時放送の設定

定時放送時刻を設定することにより、設定された時刻にメッセージや音楽を流すことができます。

4 個まで設定可能です。

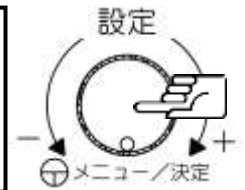
本機能で定時放送再生中に送信機の電波を受信しても、定時放送のメッセージの再生が終わるまでは送信機のメッセージは蓄積され、定時放送再生終了後蓄積されている順番で再生されます。

定時放送時刻を全て「OFF」に設定すると、本機能は働きません。

【手順 1】

トップ画面より [設定ツマミ] を押してメニュー画面を表示し、 [設定ツマミ] を回して『テイジ ホウソウ』を選択します。選択しましたら [設定ツマミ] を押してください。

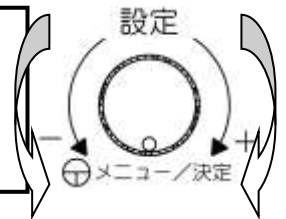
<<MENU>>  
\*テイジ ホウソウ  
BGM セッテイ  
ケンゴ セッテイ



【手順 2】

各時刻設定は 23:59~OFF~00:00 で設定できます。4 つまで設定できますので、ジコク 1~4 を [設定ツマミ] を回して選択して下さい。

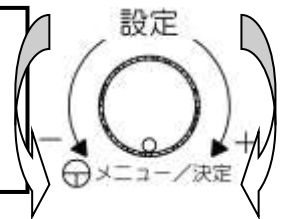
<テイジ ホウソウ>  
\*ジコク 1 09:00  
ジコク 2 12:00  
ジコク 3 OFF



【手順 2】

各時刻設定は 23:59~OFF~00:00 で設定できます。ジコク=OFF の時に [設定ツマミ] を左右へ回すと時刻表示になります。本機能を使用しない場合は「OFF」に設定します。

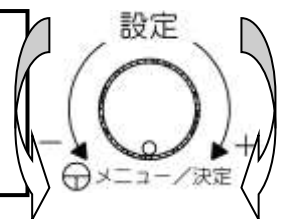
<テイジ ホウソウ ジコク 1>  
ジコク = OFF



【手順 3】

[設定ツマミ] を回すとカーソルが設定時刻の「時」で点滅します。 [設定ツマミ] を回して設定したい時間に合わせます。（設定は 24 時間制です）設定が完了しましたら [設定ツマミ] を押してください。

<テイジ ホウソウ ジコク 1>  
ジコク = 15:30



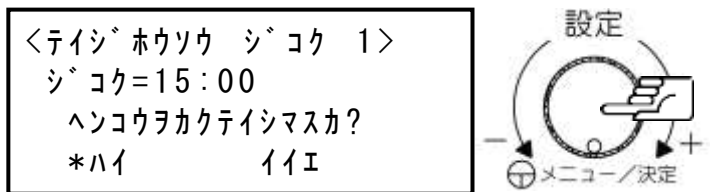
【手順4】

カーソルが設定時刻の「分」で点滅しています。〔設定つまみ〕を回して設定したい時間に合わせます。設定が完了しましたら〔設定つまみ〕を押してください。



【手順5】

確認メッセージが表示されます。変更を保存して終了する場合は〔設定つまみ〕を回して『ハイ』を選択します。変更を破棄して終了する場合は『イェ』選択し〔設定つまみ〕を押してください。



◆ BGMの設定

BGM時刻を設定することにより、設定された時刻～設定された時刻までの間メッセージや音楽を流し続けることができます。

12個まで設定可能です。

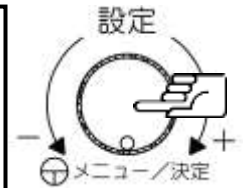
本機能で再生中に送信機の電波を受信すれば、送信機のメッセージを優先的に再生し、再生終了後BGMは頭から再生されます。

BGM設定時刻を全て「OFF」に設定すると、本機能は働きません。

【手順1】

トップ画面より「設定ツマミ」を押してメニュー画面を表示し、「設定ツマミ」を回して『BGMセッテイ』を選択します。選択しましたら「設定ツマミ」を押してください。

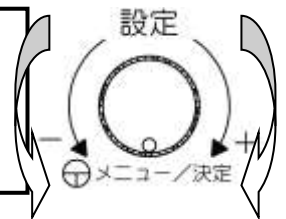
<<MENU>>  
 テイジ<sup>レ</sup>ホウソウ  
 \*BGM セッテイ  
 ゲンゴ<sup>レ</sup> セッテイ



【手順2】

各時刻設定は 23:59～OFF～00:00 で設定できます。12個まで設定できますので、BGM1～12を「設定ツマミ」を回して選択して下さい。

<BGM セッテイ>  
 \*BGM1 00:00→00:10  
 \*BGM2 02:00→02:10  
 \*BGM3 OFF

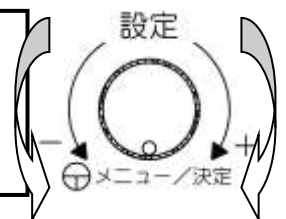


【手順3】

各時刻設定は 23:59～OFF～00:00 で設定できます。ジヨク=OFFの時に「設定ツマミ」を左右へ回すと時刻表示になります。

本機能を使用しない場合は「OFF」に設定します。

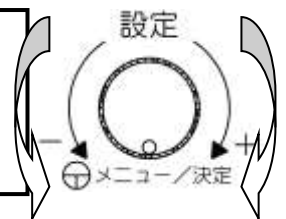
<BGM セッテイ BGM1>  
 ジヨク = OFF



【手順4】

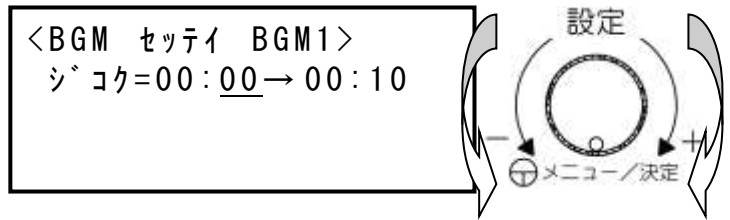
「設定ツマミ」を回すとカーソルが開始設定時刻の「時」で点滅します。「設定ツマミ」を回して設定したい時間に合わせます。（設定は24時間制です）設定が完了しましたら「設定ツマミ」を押してください。

<BGM セッテイ BGM1>  
 ジヨク = 00:00→00:10



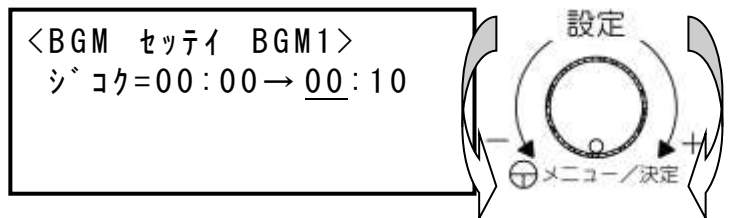
【手順5】

カーソルが開始設定時刻の「分」で点滅しています。〔設定つまみ〕を回して設定したい時間に合わせます。設定が完了しましたら〔設定つまみ〕を押してください。



【手順6】

〔設定つまみ〕を回すとカーソルが終了設定時刻の「時」で点滅します。〔設定つまみ〕を回して設定したい時間に合わせます。（設定は 24 時間制です）設定が完了しましたら〔設定つまみ〕を押してください。



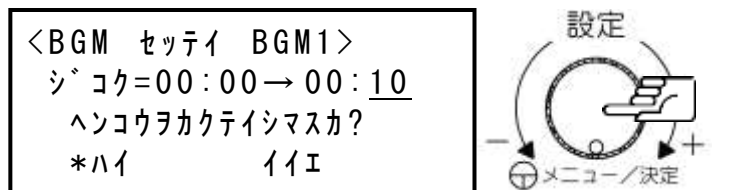
【手順7】

カーソルが終了設定時刻の「分」で点滅しています。〔設定つまみ〕を回して設定したい時間に合わせます。設定が完了しましたら〔設定つまみ〕を押してください。



【手順8】

確認メッセージが表示されます。変更を保存して終了する場合は〔設定つまみ〕を回して『ハイ』を選択します。変更を破棄して終了する場合は『イイ』選択し〔設定つまみ〕を押してください。



◆ 言語切り替えの設定

言語切り替え時刻を設定することにより、設定された開始時刻①～終了時刻①は日本語のみ、開始時刻②～終了時刻②は英語のみ、それ以外の時間は韓国語といったようにあらかじめ用意された言語で録音された音源を切り替えて流すことができます。

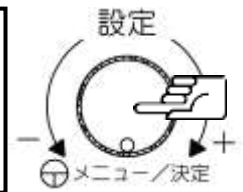
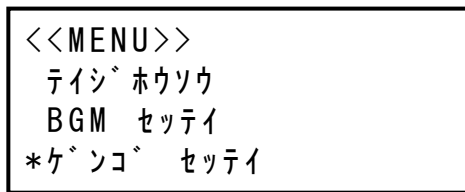
3 個まで設定可能です。

応用として、言語のみでなく午前・午後・それ以外の時間帯で流すメッセージの内容を変える場合も利用できます。

言語切り替え時刻を「OFF」に設定すると、本機能は働きません。

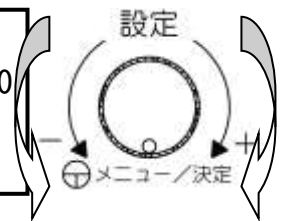
【手順 1】

トップ画面より [設定ツマミ] を押してメニュー画面を表示し、 [設定ツマミ] を回して『ゲンゴ セッテイ』を選択します。選択しましたら [設定ツマミ] を押してください。



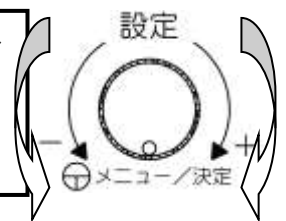
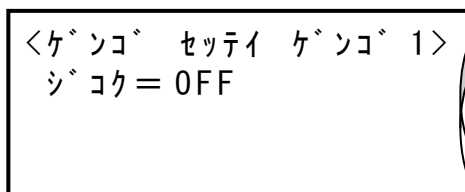
【手順 2】

各時刻設定は 23:59～OFF～00:00 で設定できます。時刻範囲は 2 つまで設定できますので、ゲンゴ 1～2 を [設定ツマミ] を回して選択して下さい。



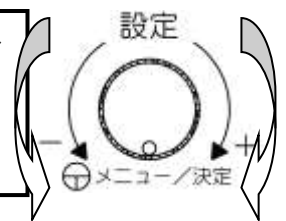
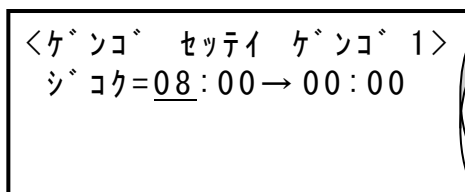
【手順 3】

各時刻設定は 23:59～OFF～00:00 で設定できます。ジヨク=OFF の時に [設定ツマミ] を左右へ回すと時刻表示になります。本機能を使用しない場合は「OFF」に設定します。



【手順 4】

[設定ツマミ] を回すとカーソルが開始設定時刻の「時」で点滅します。 [設定ツマミ] を回して設定したい時間に合わせます。（設定は 24 時間制です）設定が完了しましたら [設定ツマミ] を押してください。



【手順5】

カーソルが開始設定時刻の「分」で点滅しています。〔設定つまみ〕を回して設定したい時間に合わせます。設定が完了しましたら〔設定つまみ〕を押してください。



【手順6】

〔設定つまみ〕を回すとカーソルが終了設定時刻の「時」で点滅します。〔設定つまみ〕を回して設定したい時間に合わせます。（設定は24時間制です）設定が完了しましたら〔設定つまみ〕を押してください。



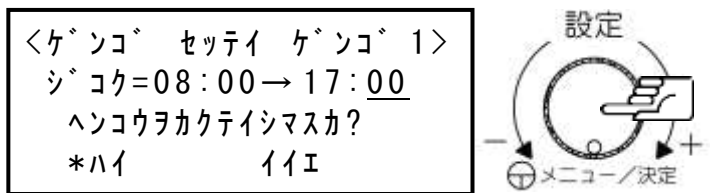
【手順7】

カーソルが終了設定時刻の「分」で点滅しています。〔設定つまみ〕を回して設定したい時間に合わせます。設定が完了しましたら〔設定つまみ〕を押してください。



【手順8】

確認メッセージが表示されます。変更を保存して終了する場合は〔設定つまみ〕を回して『ハイ』を選択します。変更を破棄して終了する場合は『イエ』選択し〔設定つまみ〕を押してください。



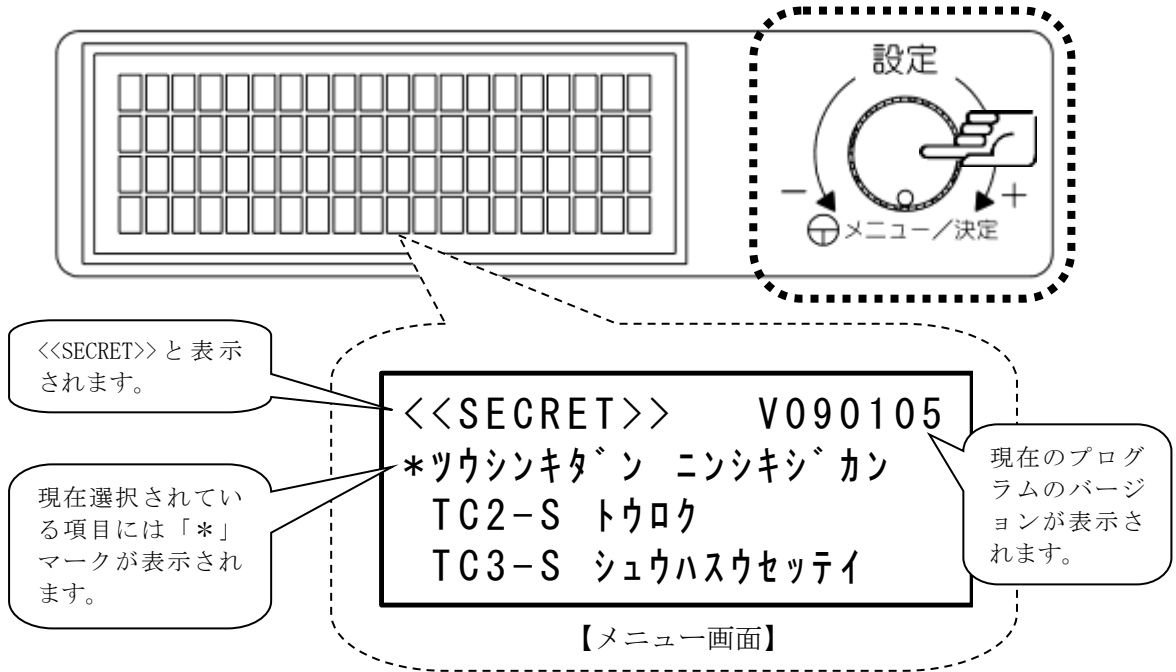


□ 設定（シークレット設定） □

◆ シークレット設定の基本操作

トップ画面が表示されている状態で、設定ツマミを<<SECRET>>画面表示が出るまで「約 5 秒間」押し続けてください。シークレットメニュー画面へ移行します。

基本的な操作方法は、通常の設定メニューと同じです。



◆ 送信機通信断認識時間の設定

TCⅢ-S タイプの送信機は、連続モードで呼び出しをした場合に約 10 秒間隔にて送信電波を繰り返し送信してきます。受信機はこの電波を監視し送信機の呼び出し状態が継続されていることを認識しています。

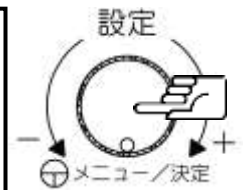
しかし送信機や不具合や電波の状態により、送信機の対応ボタンを押しても対応の電波が受信機に届かない場合があります。こうなると受信機はずっと対応の電波を待っている状態になり、液晶画面に CH 表示をし、呼び出しのメッセージを放送し続けてしまいます。

こういったトラブルを防ぐため、送信機からの呼出中の送信電波を最後に受信してから、ここで設定した時間経過しても次の呼出中の送信電波を受信しなかった場合に、送信機側で対応ボタンが押されたという判断をして、液晶画面の CH 表示を消去し、呼び出しのメッセージの放送を停止します。（対応用のメッセージ放送は行いません）

【手順 1】

トップ画面より [設定ツマミ] を長押ししてシークレットメニュー画面を表示し、[設定ツマミ] を回して『ツウシンキタン ニンシキガン』を選択します。選択しましたら [設定ツマミ] を押ししてください。

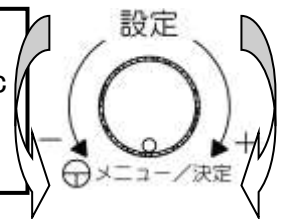
<<SECRET>> V090105  
\*ツウシンキタン ニンシキガン  
TC2-S トウロク  
TC3-S シュウハスウセツテイ



【手順 2】

カーソルが現在の設定時間で点滅しています。[設定ツマミ] を回して設定したい時間に合わせます。

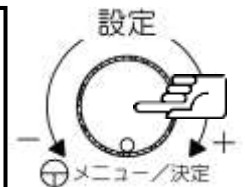
<ツウシンキタン ニンシキガン>  
ツウシンキタン ニンシキ=20sec



【手順 3】

確認メッセージが表示されます。変更を保存して終了する場合は [設定ツマミ] を回して『ハイ』を選択します。変更を破棄して終了する場合は『イエ』選択し [設定ツマミ] を押ししてください。

<ツウシンキタン ニンシキガン>  
ツウシンキタン ニンシキ=20sec  
ハンコウヲカクテイシマスカ?  
\*ハイ イイエ



◆ TCⅡ-S 送信機の登録

※本項目は「リモコンモード」の設定が『OFF』または『ON(WT)』の時の表示です。

「リモコンモード」の設定が『ON(RT)』の時は「RT リモコンの登録」の項を参照して下さい。

旧タイプ送信機「TCⅡ-S タイプ送信機」を使用する場合には、受信機に送信機IDを登録する必要があります。（最大100台まで登録可能です。100台を超えると1台目から削除されます。）

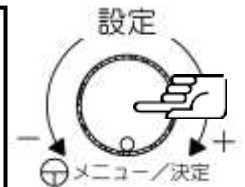
また登録した「TCⅡ-S タイプ送信機」が不要になった場合にIDを削除することができます。IDの削除には個別IDの削除と全IDをまとめて削除するモードがあります。

◇ 登録

【手順1】

トップ画面より「設定つまみ」を長押ししてシークレットメニュー画面を表示し、「設定つまみ」を回して『TC2-S トウロク』を選択します。選択しましたら「設定つまみ」を押してください。

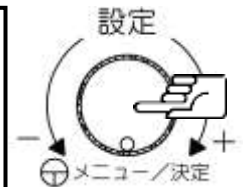
<<SECRET>> V090105  
ツウシンキダ`ン ニンシキシ`カン  
\*TC2-S トウロク  
TC3-S シュウハスウセツテイ



【手順2】

「設定つまみ」を回して『トウロク』を選択します。選択しましたら「設定つまみ」を押してください。

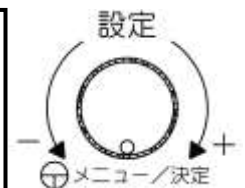
<TC2-S トウロク>  
\*トウロク  
サクジ`ヨ  
ゼ`ンサクジ`ヨ



【手順3】

一瞬『シ`バラク オマチクダ`サイ』と表示された後、『ソウシンシテクダ`サイ』の表示に変わります。

<トウロク>  
シ`バラク オマチクダ`サイ



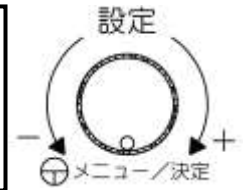
<トウロク>  
ソウシンシテクダ`サイ  
\*モト`ル



【手順4】

TCⅡ-S 送信機に対応ボタンがあるタイプは対応ボタンを、対応ボタンが無いタイプは呼出ボタンを押します。

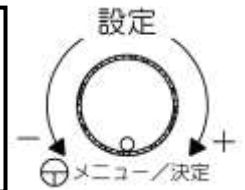
<トウロク>  
ソウシンシテクダサイ  
\*モトール



【手順5】

約3秒待ちます。  
この操作で受信機に TCⅡ-S 送信機の ID が登録されました。  
TCⅡ-S 送信機が複数台ある場合は、手順4・5を繰り返します。

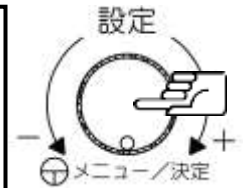
<トウロク>  
ソウシンシテクダサイ  
\*モトール



【手順6】

終了する場合は「設定ツマミ」を押すと、前の画面へ戻ります。

<トウロク>  
ソウシンシテクダサイ  
\*モトール

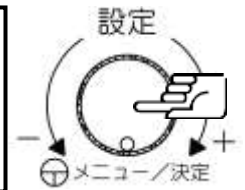


◇ 削除

【手順1】

トップ画面より「設定ツマミ」を長押ししてシークレットメニュー画面を表示し、「設定ツマミ」を回して『TC2-S トウロク』を選択します。選択しましたら「設定ツマミ」を押してください。

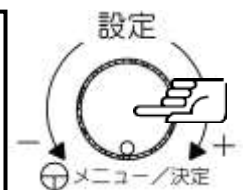
<<SECRET>> V090105  
 ツウシンキダシ ニンシキジカン  
 \*TC2-S トウロク  
 TC3-S シュウハスウセツテイ



【手順2】

「設定ツマミ」を回して『サクジヨ』を選択します。選択しましたら「設定ツマミ」を押してください。

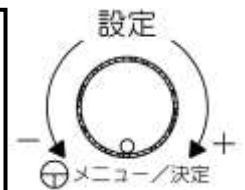
<TC2-S トウロク>  
 トウロク  
 \*サクジヨ  
 センサクジヨ



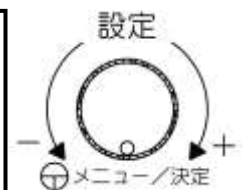
【手順3】

一瞬『シハラク オマチクダサイ』と表示された後、『ソウシンシテクダサイ』の表示に変わります。

<サクジヨ>  
 シハラク オマチクダサイ



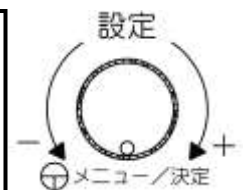
<サクジヨ>  
 ソウシンシテクダサイ  
 \*モトル



【手順4】

TCⅡ-S 送信機に対応ボタンがあるタイプは対応ボタンを、対応ボタンが無いタイプは呼出ボタンを押します。

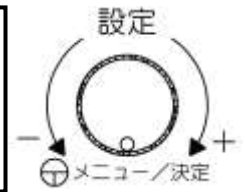
<サクジヨ>  
 ソウシンシテクダサイ  
 \*モトル



【手順5】

約3秒待ちます。  
この操作で受信機から TCⅡ-S 送信機の ID が削除されました。  
TCⅡ-S 送信機が複数台ある場合は、手順4・5を繰り返します。

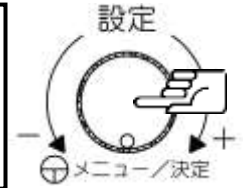
＜サクジヨ＞  
ソウシンシテクダサイ  
\*モトル



【手順6】

終了する場合は「設定ツマミ」を押すと、前の画面へ戻ります。

＜サクジヨ＞  
ソウシンシテクダサイ  
\*モトル

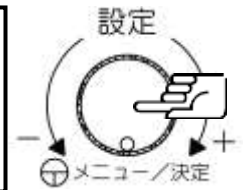


◇ 全削除

【手順1】

トップ画面より [設定つまみ] を長押ししてシークレットメニュー画面を表示し、[設定つまみ] を回して『TC2-S トウロク』を選択します。選択しましたら [設定つまみ] を押してください。

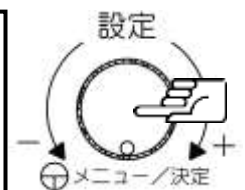
<<SECRET>> V090105  
 ツウシンキダシ ヲンシキジカン  
 \*TC2-S トウロク  
 TC3-S シュウハスウセツテイ



【手順2】

[設定つまみ] を回して『ゼンサクジヨ』を選択します。選択しましたら [設定つまみ] を押してください。

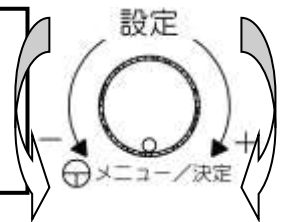
<TC2-S トウロク>  
 トウロク  
 サクジヨ  
 \*ゼンサクジヨ



【手順3】

全削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。全削除を実行する場合は [設定つまみ] を回して『ハイ』を選択します。全削除を中止する場合は『イエ』選択し [設定つまみ] を押してください。

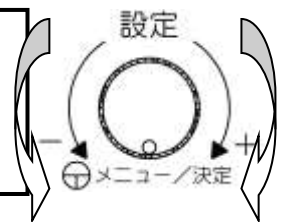
<ゼンサクジヨ>  
 ゼンサクジヨシマスカ?  
 \*ハイ イイエ



【手順4】

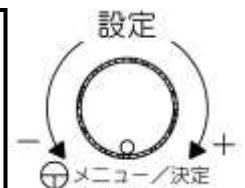
手順3で『ハイ』を選択した場合、再度全削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。全削除を実行する場合は [設定つまみ] を回して『ハイ』を選択します。全削除を中止する場合は『イエ』選択し [設定つまみ] を押してください。

<ゼンサクジヨ>  
 ホントウニイテマスカ?  
 \*ハイ イイエ



『ハイ』を選択した場合、約 15 秒間『サクジヨチュウ!!!』を表示して、削除作業が完了します。

<ゼンサクジヨ>  
 サクジヨチュウ!!!



◆ RTリモコンの登録

※本項目は「リモコンモード」の設定が『ON(RT)』の時の表示です。

「リモコンモード」の設定が『OFF』または『ON(WT)』の時は「TCⅡ-S送信機の登録」の項を参照して下さい。

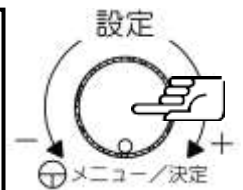
「RTリモコン」を使用する場合には、受信機に送信機IDを登録する必要があります。（最大100台まで登録可能です。100台を超えると1台目から削除されます。）  
また登録した「RTリモコン」が不要になった場合にIDを削除することができます。

◇ 登録

【手順1】

トップ画面より「設定ツマミ」を長押ししてシークレットメニュー画面を表示し、「設定ツマミ」を回して『RTリモコン トウロク』を選択します。選択しましたら「設定ツマミ」を押してください。

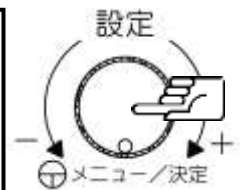
<<SECRET>> V090105  
ソウシンキダシ ヌンシキジカン  
\*RT リモコン トウロク  
TC3-S シュウハスウセツテイ



【手順2】

「設定ツマミ」を回して『トウロク』を選択します。選択しましたら「設定ツマミ」を押してください。

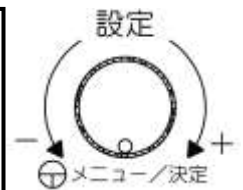
<RT トウロク>  
\*トウロク  
センサクジヨ  
モトヾル



【手順3】

一瞬『シバラク オマチクダサイ』と表示された後、『ソウシンキダサイ』の表示に変わります。

<RT トウロク>  
シバラク オマチクダサイ



<RT トウロク>  
ソウシンキダサイ  
\*モトヾル

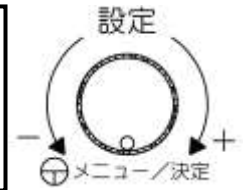




【手順4】

RT-4 リモコンのボタンを押します。

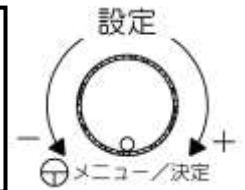
＜RT トウロク＞  
ソウシンシテクダサイ  
\*モトドル



【手順5】

しばらくすると画面に『トウロクセイコウ』と表示されます。  
この操作で受信機に RT-4 リモコンの ID が登録されました。  
RT-4 リモコンが複数台ある場合は、手順4・5を繰り返します。

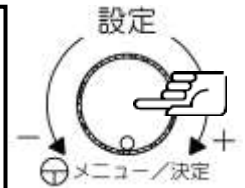
＜RT トウロク＞  
トウロクセイコウ  
\*モトドル



【手順6】

終了する場合は [設定ツマミ] を押すと、前の画面へ戻ります。

＜RT トウロク＞  
ソウシンシテクダサイ  
\*モトドル

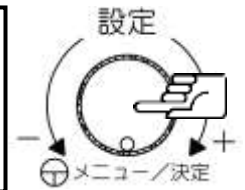


◇ 全削除

【手順1】

トップ画面より「設定ツマミ」を長押ししてシークレットメニュー画面を表示し、「設定ツマミ」を回して『RT リモコン トウロク』を選択します。選択しましたら「設定ツマミ」を押してください。

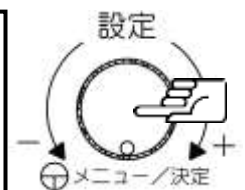
<<SECRET>> V090105  
 ツウシンキダ`ン ニンシキシ`カン  
 \*RT リモコン トウロク  
 TC3-S シュウハスウセツテイ



【手順2】

「設定ツマミ」を回して『センサクジ`ョ』を選択します。選択しましたら「設定ツマミ」を押してください。

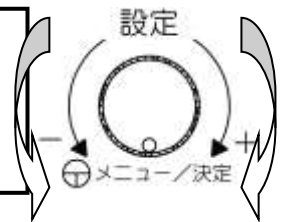
<RT リモコン トウロク>  
 トウロク  
 \*センサクジ`ョ  
 モト`ル



【手順3】

全削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。全削除を実行する場合は「設定ツマミ」を回して『ハイ』を選択します。全削除を中止する場合は『イエ』選択し「設定ツマミ」を押してください。

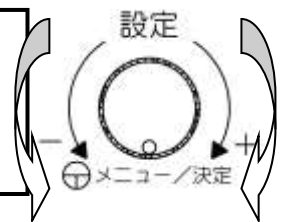
<RT セ`ンサクジ`ョ>  
 セ`ンサクジ`ョシマスカ?  
 \*ハイ イイエ



【手順4】

手順3で『ハイ』を選択した場合、再度全削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。全削除を実行する場合は「設定ツマミ」を回して『ハイ』を選択します。全削除を中止する場合は『イエ』選択し「設定ツマミ」を押してください。

<RT セ`ンサクジ`ョ>  
 ホントウニイテ`スカ?  
 \*ハイ イイエ



『ハイ』を選択した場合、約 15 秒間『サクジ`ョチュウ!!!』を表示して、削除作業が完了します。

<RT セ`ンサクジ`ョ>  
 サクジ`ョチュウ!!!



◆ 周波数の設定

TCⅢ-S タイプの送信機または TCREPⅢタイプの中継器との通信に関しては、周波数チャンネルを切り替えて使用することができます。（送信機または中継器と受信機の設定を合わせる必要があります。送信機・中継器の周波数チャンネル設定に関しましては、それぞれの取扱説明書をご参照ください）

近くの店舗同士で設置した場合など、電波が混在する場合に周波数チャンネルを切り替えて使用してください。

TCⅢ-S タイプ送信機との間で設定できる周波数チャンネルは4種類です。

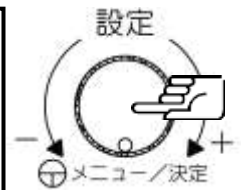
（TCⅢ-S タイプ送信機の「動作モードの設定」にて動作モード設定スイッチの「4番」をONした場合は10種類全ての周波数チャンネルが使用できます。）

中継器間で設定できる周波数チャンネルは10種類です。

【手順1】

トップ画面より [設定ツマミ] を長押ししてシークレットメニュー画面を表示し、[設定ツマミ] を回して『TC3-S シュウハスウセツテイ』を選択します。選択しましたら [設定ツマミ] を押してください。

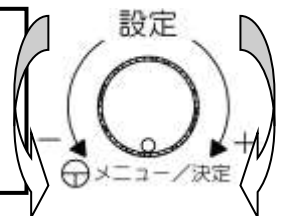
<<SECRET>> V100901  
ツウシンキダシ ヌンシキジカン  
TC2-S トウロク  
\*TC3-S シュウハスウセツテイ



【手順2】

カーソルが現在の設定周波数チャンネルで点滅しています。[設定ツマミ] を回して設定したい周波数チャンネルに合わせます。設定できるチャンネルは 00~09 までありますが、TCⅢ-S タイプ送信機や中継器の周波数チャンネルに合わせる必要があります。下記を参考に設定してください。

<TC3-S シュウハスウセツテイ>  
ジ ヌシンキ CH= 00  
426.02500MHz  
TC3-S シュウハスウ -----



下記表の「送信機周波数チャンネル」の（ ）内の数字は、TCⅢ-S タイプ送信機の「動作モードの設定」にて動作モード設定スイッチの「4番」をONした場合の送信機側の周波数設定値です。この場合は、受信機表示器の「TC3-S シュウハスウ」の表示は無視してください。

受信機周波数チャンネル=00  
送信機周波数チャンネル=なし (0)  
中継機送信周波数チャンネル=0  
【周波数=426.02500MHz】

<TC3-S シュウハスウセツテイ>  
ジ ヌシンキ CH= 00  
426.02500MHz  
TC3-S シュウハスウ -----

受信機周波数チャンネル=01  
送信機周波数チャンネル=0, 1, 2, 3のどれか (1)  
中継機送信周波数チャンネル=1  
【周波数=426.03750MHz】

<TC3-S シュウハスウセツテイ>  
ジ ヌシンキ CH= 01  
426.03750MHz  
TC3-S シュウハスウ -----

受信機周波数チャンネル=02  
送信機周波数チャンネル=なし (2)  
中継機送信周波数チャンネル=2  
【周波数=426.05000MHz】

<TC3-S シュウハスウセツテイ>  
ジ ヌシンキ CH= 02  
426.05000MHz  
TC3-S シュウハスウ -----

受信機周波数チャンネル=03 送信機周波数チャンネル=4, 5, 6, 7のどれか (3) 中継機送信周波数チャンネル=3 【周波数=426.06250MHz】	<TC3-S シュウハスウセツテイ> シュシンキ CH= <u>03</u> 426.06250MHz TC3-S シュウハスウ 4, 5, 6, 7
受信機周波数チャンネル=04 送信機周波数チャンネル=なし (4) 中継機送信周波数チャンネル=4 【周波数=426.07500MHz】	<TC3-S シュウハスウセツテイ> シュシンキ CH= <u>04</u> 426.07500MHz TC3-S シュウハスウ -----
受信機周波数チャンネル=05 送信機周波数チャンネル=8, 9, A, Bのどれか (5) 中継機送信周波数チャンネル=5 【周波数=426.08750MHz】	<TC3-S シュウハスウセツテイ> シュシンキ CH= <u>05</u> 426.08750MHz TC3-S シュウハスウ 8, 9, A, B
受信機周波数チャンネル=06 送信機周波数チャンネル=なし (6) 中継機送信周波数チャンネル=6 【周波数=426.10000MHz】	<TC3-S シュウハスウセツテイ> シュシンキ CH= <u>06</u> 426.10000MHz TC3-S シュウハスウ -----
受信機周波数チャンネル=07 送信機周波数チャンネル=C, D, E, Fのどれか (7) 中継機送信周波数チャンネル=7 【周波数=426.11250MHz】	<TC3-S シュウハスウセツテイ> シュシンキ CH= <u>07</u> 426.11250MHz TC3-S シュウハスウ C, D, E, F
受信機周波数チャンネル=08 送信機周波数チャンネル=なし (8) 中継機送信周波数チャンネル=8 【周波数=426.12500MHz】	<TC3-S シュウハスウセツテイ> シュシンキ CH= <u>08</u> 426.12500MHz TC3-S シュウハスウ -----
受信機周波数チャンネル=09 送信機周波数チャンネル=なし (9) 中継機送信周波数チャンネル=9 【周波数=426.13750MHz】	<TC3-S シュウハスウセツテイ> シュシンキ CH= <u>09</u> 426.13750MHz TC3-S シュウハスウ -----

【手順8】

確認メッセージが表示されます。  
 変更を保存して終了する場合は  
 [設定ツマミ] を回して『ハイ』を  
 選択します。変更を破棄して終了  
 する場合は『イイ』選択し [設定  
 ツマミ] を押してください。

<TC3-S シュウハスウセツテイ>  
 シュシンキ CH= 07  
 ハンコウヲカクテイシマスカ?  
 \*ハイ イイ



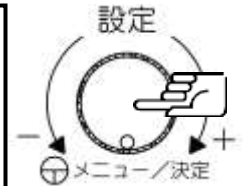
◆ 受信電文モニタの表示

TCⅢ-S タイプの送信機または TCREPⅢタイプの中継器から送信されてくる通信電文を表示します。

【手順1】

トップ画面より [設定ツマミ] を長押ししてシークレットメニュー画面を表示し、[設定ツマミ] を回して『ジュシテンブンモニタ[HEX]』を選択します。選択しましたら [設定ツマミ] を押していただき

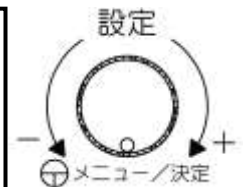
```
<<SECRET>>
*ジュシテンブンモニタ[HEX]
SD カート ジョウホウ
テスト オンセイ シュツリョク
```



【手順2】

常に最新の受信した電文を表示します。  
（表示内容の詳細につきましては割愛させていただきます）

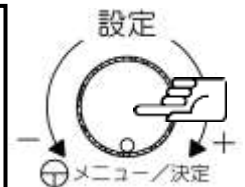
```
RX[002]:02714A2C0242
313236303330303030
30304130303031303030
41303930314145433003
```



【手順3】

終了する場合は [設定ツマミ] を押していただき。

```
RX[002]:02714A2C0242
313236303330303030
30304130303031303030
41303930314145433003
```



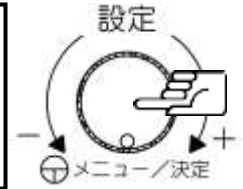
◆ SDカード情報の表示

本機に挿入されているSDカードについての情報を表示します。

【手順1】

トップ画面より「設定つまみ」を長押ししてシークレットメニュー画面を表示し、「設定つまみ」を回して『SDカードジョウホウ』を選択します。選択したら「設定つまみ」を押してください。

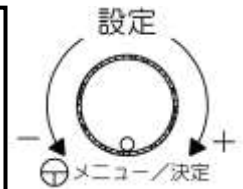
```
<<SECRET>>
ジュシテンブンモニタ[HEX]
*SDカード ジョウホウ
テスト オンセイ シュツリョク
```



【手順2】

現在本機に挿入されているSDカードの情報を表示します。  
（表示内容の詳細につきましては割愛させていただきます）

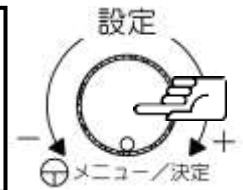
```
<SDカード ジョウホウ>*モデル
CARDTYPE -> SDC_V1
FAT TYPE -> FAT12
FREE:0000872HB
```



【手順3】

終了する場合は「設定つまみ」を押してください。

```
<SDカード ジョウホウ>*モデル
CARDTYPE -> SDC_V1
FAT TYPE -> FAT12
FREE:0000872HB
```



◆ テスト音声の出力

1 KHz サイン波のテスト音声（ピ〜音）を出力します。

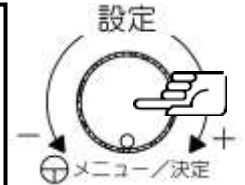
出力先は、「ライン出力」「マイク出力」「内蔵スピーカー」です。

音量の調整などにご利用ください。

【手順1】

トップ画面より「設定つまみ」を長押ししてシークレットメニュー画面を表示し、「設定つまみ」を回して『テストオンセイヤツリョク』を選択します。選択したら「設定つまみ」を押してください。

<<SECRET>>  
 シュンテンブンモクタ[HEX]  
 SDカード ジョウホウ  
 \*テスト オンセイ シュツリョク



【手順2】

「ライン出力」「マイク出力」「内蔵スピーカー」より、1KHz サイン波が出力されます。また「設定つまみ」を回すと、高い音や低い音に変更できます。

<テスト オンセイ シュツリョク>  
 1KHz SIN WAVE OUT  
 FULL RANGE  
 \*モデル



【手順3】

終了する場合は「設定つまみ」を押してください。

<テスト オンセイ シュツリョク>  
 1KHz SIN WAVE OUT  
 FULL RANGE  
 \*モデル



◆ ジングルボリュームの設定

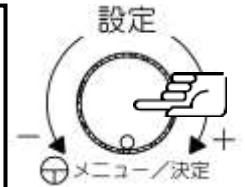
音声メッセージの前に再生することのできる「ジングル」の音量を、音声のメッセージ音量より減衰させる事ができます。

設置場所の天井の高さや、広さ等により「ジングル」の音量が大きく聞こえる事があります。そのような場合に本機能を使用して、「ジングル」の音量を調整して下さい。

【手順1】

トップ画面より [設定ツマミ] を長押ししてシークレットメニュー画面を表示し、[設定ツマミ] を回して『JNGL VOLUME』を選択します。選択しましたら [設定ツマミ] を押して下さい。

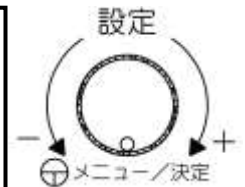
```
<<SECRET>>
*JNGL VOLUME
REC VLOG SAVE
シリアルコンソール
```



【手順2】

[設定ツマミ] を左へ回すと、ジングルの音量を小さくなります。右へ回すと大きくなります。設定できる範囲は、(大)-000.0dB～(小)-030.0dB です。

```
<JNGL VOLUME >
VOL ATT -> -000.0dB
```



【手順3】

終了する場合は [設定ツマミ] を押して下さい。

```
<JNGL VOLUME >
VOL ATT -> -015.0dB
```





## ◆ 受信ログの設定

受信機の稼働状況を、SDカードへ保存することができます。

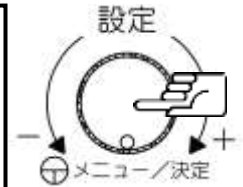
この機能を使用しますと、「いつ、どの送信機が呼び出したか」という履歴が残せますので送信機を設置する売り場の配置変更等に利用することができます。

また合せて、送信機のスイッチの情報、電池の残量、受信レベルも保存されます。

### 【手順1】

トップ画面より「設定ツマミ」を長押ししてシークレットメニュー画面を表示し、「設定ツマミ」を回して『RECVLOG SAVE』を選択します。選択しましたら「設定ツマミ」を押してください。

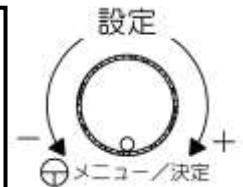
```
<<SECRET>>
JNGL VOLUME
*RECVLOG SAVE
シリアルコンソール
```



### 【手順2】

「設定ツマミ」を左または右へ回すと、OFF→ON→OFF→ONと表示が変わりますので、ログを保存したい場合は「ON」を、保存しない場合は「OFF」を表示させて下さい。

```
<RECVLOG SAVE>
RECVLOG SAVE = OFF
```



### 【手順3】

設定を終了する場合は「設定ツマミ」を押してください。

```
<RECVLOG SAVE>
RECVLOG SAVE = ON
```



### 保存ファイルについて

ログは、「*yyyymmdd*.log」という名称でファイルが自動的に作られ保存されます。

(yyyy=西暦年、mm=月、dd=日となります)

ファイルの内容は、カンマ区切りのテキストファイルですので、色々なソフトウェア等で内容の表示や分析をすることができます。

SDファイルの容量がいっぱいになると、自動的にログの保存を中断します。

◆ シリアルコンソールの設定

この機能を使用しますと、受信機の現在の状態を、シリアル通信を使用しパソコンなどで表示することができます。

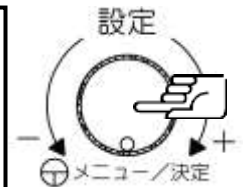
この機能はメーカーが使用する機能ですので、詳細説明は省かせて頂きます。

通常は「OFF」にして、運用して下さい。

【手順1】

トップ画面より [設定ツマミ] を長押ししてシークレットメニュー画面を表示し、[設定ツマミ] を回して『シリアルコンソール』を選択します。選択しましたら [設定ツマミ] を押して下さい。

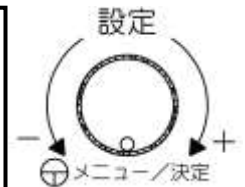
<<SECRET>>  
JNGL VOLUME  
RECVLOG SAVE  
\*シリアルコンソール



【手順2】

[設定ツマミ] を左または右へ回すと、OFF→ON→OFF→ON と表示が変わりますので、本機能を使用する場合は「ON」を、使用しない場合は「OFF」を表示させて下さい。

<シリアルコンソール>  
シリアルコンソール = OFF



【手順3】

設定を終了する場合は [設定ツマミ] を押して下さい。

<シリアルコンソール>  
シリアルコンソール = ON



◆ ノイズフロアの設定

本項目は使用しませんので、使用方法は割愛致します。

【手順1】

トップ画面より「設定ツマミ」を長押ししてシークレットメニュー画面を表示し、「設定ツマミ」を回して『ノイズフロア』を選択します。

<<SECRET>>  
 \*ノイズフロア  
 セーフ/リストア  
 リモコンモード



◆ 設定内容のセーブ(保存)とリストア(復旧)

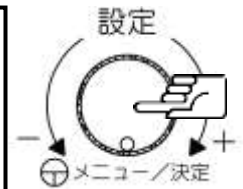
本機で設定した設定内容を、SD カードへセーブ(保存)する事ができます。  
また保存した内容をリストア(復旧)する事もできます。

◇ セーブ(保存)

【手順1】

トップ画面より [設定ツマミ] を長押ししてシークレットメニュー画面を表示し、[設定ツマミ] を回して『セーブ / リストア』を選択します。

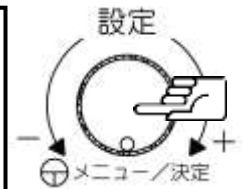
<<SECRET>>  
ノイズフロア  
\*セーブ / リストア  
リモコンモード



【手順2】

『セーブ』を選択し [設定ツマミ] を押して確定して下さい。

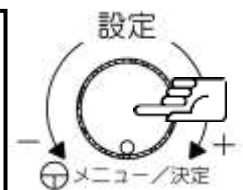
<セーブ / リストア>  
\*セーブ  
リストア  
モード



【手順3】

『セーブ』⇒『セーブチュウ』に表示が変わり、約 10 秒後にセーブが完了します。

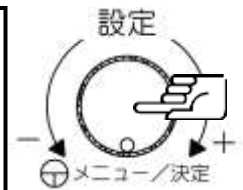
<セーブ / リストア>  
\*セーブチュウ  
リストア  
モード



【手順4】

ひとつ前の画面に戻り、セーブ作業は完了します。

<<SECRET>>  
ノイズフロア  
\*セーブ / リストア  
リモコンモード

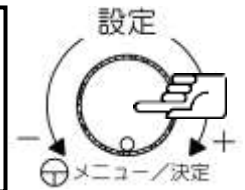


◇ リストア（復旧）

【手順1】

トップ画面より「設定ツマミ」を長押ししてシークレットメニュー画面を表示し、「設定ツマミ」を回して『セーフ/リストア』を選択します。

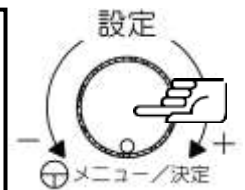
<<SECRET>>  
ノイズフロア  
\*セーフ/リストア  
リモコンモード



【手順2】

『リストア』を選択し「設定ツマミ」を押して確定して下さい。

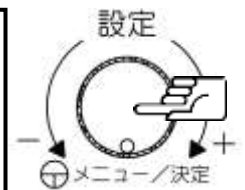
<セーフ/リストア>  
セーフ  
\*リストア  
モデル



【手順3】

『リストア』⇒『リストアチュウ』に表示が変わり、約 10 秒後にリストアが完了します。

<セーフ/リストア>  
セーフ  
\*リストアチュウ  
モデル



【手順4】

自動的にリセットが掛かり、通常画面に戻ります。  
各項目の設定が間違っていないか、見直してから運用して下さい。

◆ リモコンモードの設定

本機では、オプション設定でリモコンを使用する事ができます。

リモコンを使用する際に、リモコンに合わせて本項目を設定する必要があります。

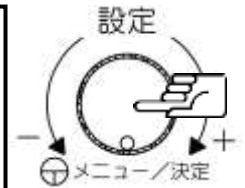
利用可能なリモコンは、「WT-01」「WT-02」「WT-04」「RT-3」「RT-4」のいずれかです。

WT シリーズと RT シリーズの混在はできませんので、ご注意ください。

【手順1】

トップ画面より「設定ツマミ」を長押ししてシークレットメニュー画面を表示し、「設定ツマミ」を回して『リモコンモード』を選択します。

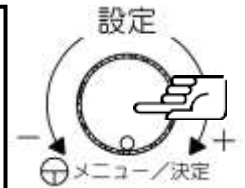
<<SECRET>>  
ノイズフロア  
セーブ / リストア  
\*リモコンモード



【手順2】

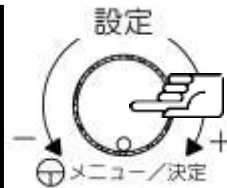
「設定ツマミ」を左または右へ回すと、OFF→ON(WT)→ON(RT)→OFFと表示が変わりますので、使用するリモコンに合わせて、「設定ツマミ」を押して確定してください。

<リモコンモード>  
リモコンモード = ON(WT)



※本項目で「OFF」または「ON(WT)」を選択した場合は、『TC2-S トウロク』メニューが表示され、

<<SECRET>> V090105  
ツウシンキタン ニンシキジカン  
\*TC2-S トウロク  
TC3-S シュウハスウセツテイ



「ON(RT)」を選択した場合は、『RT リモコン トウロク』に表記と動作モードが変わります。

<<SECRET>> V090105  
ツウシンキタン ニンシキジカン  
\*RT リモコン トウロク  
TC3-S シュウハスウセツテイ



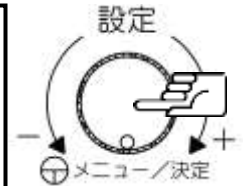
◆ 拡張リレー基板使用の設定

本機では、オプション設定で拡張リレー基板を装着する事ができます。  
 拡張リレー基板を使用する際には、本項目で使用する設定にしてください。

【手順1】

トップ画面より「設定ツマミ」を長押ししてシークレットメニュー画面を表示し、「設定ツマミ」を回して『カクチョウ リレー』を選択します。

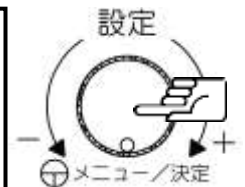
<<SECRET>>  
 \*カクチョウ リレー  
 ヘルトコール タ`イスウ  
 オウトウ ノミ ト`ウサ



【手順2】

「設定ツマミ」を左または右へ回ると、OFF→ON→OFF→ON と表示が変わりますので、拡張リレー基板を使用する際には『ON』、使用しない場合は『OFF』に合わせて「設定ツマミ」を押して確定してください。

<カクチョウ リレー>  
 カクチョウ リレー = ON



◆ 減るとコール接続時の設定

本機は、減るとコールの受信も可能です。減るとコールの受信をオプションの拡張リレー基板を使用しリレー出力を連動する際には、本項目で使用する減るとコールのセンサグループ数を設定して下さい。

拡張リレー基板には 32 個のリレーが装着されています。

本設定で「1 台」と設定した場合は、リレーの 1～5 番が減るとコール送信機の CH1 へ割り振られます。この場合リレー1 は減るとコール送信機 CH1 の「電源異常」、リレー2 は「盗難検知」、リレー3 は「センサ～センサ間ケーブル異常」、リレー4 は「補充検知」、リレー5 は「送信機～センサ間ケーブル異常」に対応し、リレー6～32 は通常送信機の CH6～32 に対応します。

本設定で「2 台」と設定した場合は、リレーの 1～5 番は上記と同様で、リレーの 6～10 番が続けて減るとコール送信機の CH2 へ割り振られます。この場合リレー6 は減るとコール送信機 CH2 の「電源異常」、リレー7 は「盗難検知」、リレー8 は「センサ～センサ間ケーブル異常」、リレー9 は「補充検知」、リレー10 は「送信機～センサ間ケーブル異常」に対応し、リレー11～32 は通常送信機の CH11～32 に対応します。

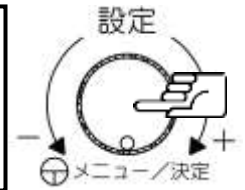
本設定で最大「6 台」まで設定できますが、「6 台」と設定した場合は、リレーの 1～5 番は減るとコール送信機の CH1、リレーの 6～10 は減るとコール送信機の CH2、リレーの 11～15 は減るとコール送信機の CH3、リレーの 16～20 は減るとコール送信機の CH4、リレーの 21～25 は減るとコール送信機の CH5、上記と同様で、リレーの 26～30 番が続けて減るとコール送信機の CH6 へ割り振られます。この場合リレー26 は減るとコール送信機 CH2 の「電源異常」、リレー27 は「盗難検知」、リレー28 は「センサ～センサ間ケーブル異常」、リレー29 は「補充検知」、リレー30 は「送信機～センサ間ケーブル異常」に対応し、リレー31～32 は通常送信機の CH31～32 に対応します。



【手順1】

トップ画面より「設定つまみ」を長押ししてシークレットメニュー画面を表示し、「設定つまみ」を回して『ハルトコール タ`イスウ』を選択します。

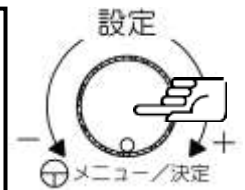
<<SECRET>>  
 カクチョウ リレ-  
 \*ハルトコール タ`イスウ  
 オウトウ ノミ ト`ウサ



【手順2】

「設定つまみ」を左または右へ回すと、0→1→2→3→4→5→6→0→1と表示が変わりますので、接続する減るとコールのセンサグループ数に合わせて「設定つまみ」を押して確定してください。

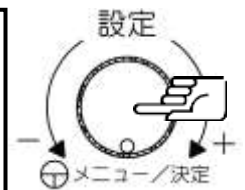
<ハルトコール タ`イスウ>  
 ハルトコール = 1 タ`イ



【手順3】

確認メッセージが表示されます。変更を保存して終了する場合は「設定つまみ」を回して『ハイ』を選択します。変更を破棄して終了する場合は『イヤ』選択し「設定つまみ」を押してください。

<ハルトコール タ`イスウ>  
 ハルトコール = 1 タ`イ  
 ハンコウヲカクテイシマスカ?  
 \*ハイ イイエ



◆ 送信機から応答のみ受信時の動作設定

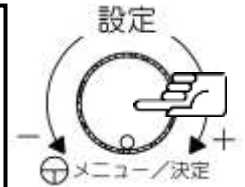
本機は通常、送信機の呼び出しを受信すると呼出メッセージを再生し、続いて応答を受信すると応答メッセージを再生します。

通常は送信機の呼び出しをせずに応答を受信しても何も再生されませんが、本機能を設定すると送信機の呼び出しをせずに応答を受信すると、応答メッセージを再生できるようになります。

【手順1】

トップ画面より「設定ツマミ」を長押ししてシークレットメニュー画面を表示し、「設定ツマミ」を回して『オウトウ ノミ トウサ』を選択します。

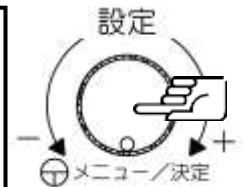
<<SECRET>>  
 カクチョウ リレ-  
 ヘルトコール タ`イスウ  
 \*オウトウ ノミ ト`ウサ



【手順2】

「設定ツマミ」を左または右へ回ると、OFF→ON→OFF→ON と表示が変わりますので、本機能を使用する際には『ON』、使用しない場合は『OFF』に合わせて「設定ツマミ」を押して確定してください。

<オウトウ ノミ ト`ウサ>  
 オウトウ ノミ ト`ウサ  
 オンセイ シュツリヨク= ON



◆ 有線接続メッセージ再生中のキャンセル機能の設定

本機背面にある端子台は通常①～⑧の 8 入力があるが、この機能を有効<ON>にする事により①～⑦を通常の入力、⑧をメッセージキャンセル入力として使用できるようになります。

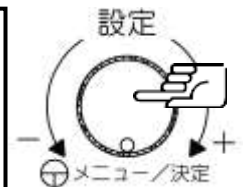
①～⑦に入力があり対応するメッセージを再生中に⑧へ入力すると、直ちにメッセージの再生を中断します。またこの機能を有効<ON>にしている場合は、①～⑦に入力がありメッセージを再生している間は、他の有線接続①～⑦に入力があっても入力を受け付けず無視します（通常は有線入力がありメッセージ再生中に違う有線接続の入力があると、その入力を記憶しておきメッセージの再生が終わると、直ちに記憶していた入力に対応するメッセージを再生します）

但しこの機能は、有線接続入力にのみ有効であり、無線の動作は通常の動作となります。

【手順 1】

トップ画面より [設定ツマミ] を長押ししてシークレットメニュー画面を表示し、[設定ツマミ] を回して『ユウセンニューリヨクメッセージ』を選択します。

<<SECRET>>  
\*ユウセンニューリヨクメッセージ  
モデル



【手順 2】

[設定ツマミ] を左または右へ回ると、OFF→ON→OFF→ON と表示が変わりますので、本機能を使用する際には『ON』、使用しない場合は『OFF』に合わせて [設定ツマミ] を押して確定してください。

<ユウセンニューリヨクメッセージ >  
ユウセンニューリヨクメッセージ  
キャンセルキノウ = ON



◆ 外部スイッチ（EX04）を連続発信モードで使用する時の設定

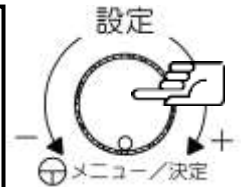
外部スイッチ付き送信機「TCⅢ-S-EX04」を、連続発信モードで使用する時は本設定を有効にして使用する必要があります。

本設定を有効にしないと、正常に動作しませんのでご注意ください。

【手順1】

トップ画面より「設定ツマミ」を長押ししてシークレットメニュー画面を表示し、「設定ツマミ」を回して『ガ イ フ SW クリカエシ』を選択します。

<<SECRET>>  
ユウセンニューリヨクメッセージ  
\*ガ イ フ SW クリカエシ  
モトメ



【手順2】

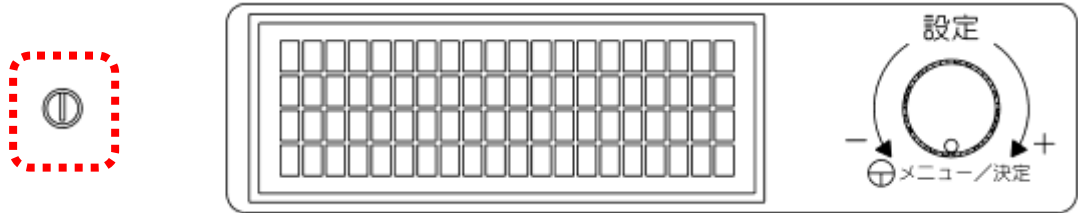
「設定ツマミ」を左または右へ回ると、OFF→ON→OFF→ON と表示が変わりますので、本機能を使用する際には『ON』、使用しない場合は『OFF』に合わせて「設定ツマミ」を押して確定してください。

<ガ イ フ SW クリカエシ>  
ガ イ フ SW クリカエシ  
クリカエシ ソウシン = ON

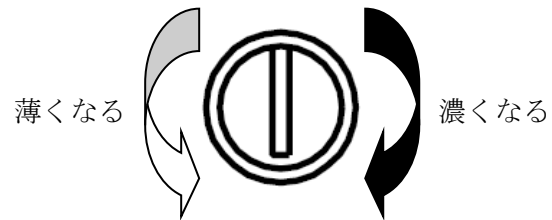


## □ コントラスト調整 □

液晶表示器の左側にある「コントラスト調整」ツマミにて、液晶表示器のコントラスト調整ができます。



マイナスドライバーで設定します。右へ回すと「濃く」なります。左へ回すと「薄く」なります。



## ■ 音声カード

### □ 使用可能なカード □

「SDC Ver. 2」または「SDHC」に準拠したSDカードが使用可能です。

動作確認済みのカード容量は、8MB～4GBです。

（メーカーの違いなどにより、使用できないカードもあるかもしれません。ご了承ください）

### □ フォーマット □

動作確認済みのファイルシステムは、FAT12またはFAT16です。

例として、WindowsXPでコマンドプロンプトを使用したフォーマットの例を記します。

**Format□?:□/FS:FAT**

「?」はSDカードのドライブ文字（ボリューム名）

「□」はスペースです

### □ 音声ファイル格納フォルダ □

通常は「Sound」フォルダへ格納しますが、言語切り替えの設定をした場合は下記フォルダ内の音源ファイルが再生されます。

設定	フォルダ名
ゲンゴ 1	Lang1
ゲンゴ 2	Lang2
上記以外の時間	Sound

□ 音声ファイル □

通常は下記ファイルを SD カード内の「Sound」フォルダの中に入れます。

アクション	種類	ファイル名	備 考
送信機呼出	メッセージ	CALL**. mp3	「**」送信機チャンネル 01～99
	ジングル	JCALL**. mp3	「**」送信機チャンネル 01～99
送信機対応	メッセージ	DELL**. mp3	「**」送信機チャンネル 01～99
	ジングル	JDELL**. mp3	「**」送信機チャンネル 01～99
有線接続	メッセージ	CBLC**. mp3	「**」受信機背面端子台の有線接続チャンネル 01～08
	ジングル	JCBL**. mp3	「**」受信機背面端子台の有線接続チャンネル 01～08
拡張スイッチ (TCⅢ-S-EX04)	メッセージ	EXTC**-?. mp3	「**」送信機チャンネル 01～99 「？」 EX04 のスイッチ 1～4
	ジングル	JEXT**-?. mp3	「**」送信機チャンネル 01～99 「？」 EX04 のスイッチ 1～4
定期放送	メッセージ	REG**. mp3	「**」定期放送 01～05 必ず 01～連番で割り振る。 定期放送が 3 種類ある場合は、 「REG01. mp3」 「REG02. mp3」 「REG03. mp3」 以下の様に 「REG01. mp3」 「REG02. mp3」 「REG05. mp3」 と、連番で準備しないと 2 個しか再生されない
定時放送	メッセージ	SCREG**. mp3	「**」定時放送 01～04 設定された定時放送再生時刻に再生されるファイル
B G M	メッセージ	BGM01. mp3	設定された BGM 再生時刻に再生されるファイル 設定自体は 12 個だが再生ファイルは 1 個のみ
開店	メッセージ	OPEN01. mp3	設定された開店時刻に再生されるファイル
開店直前	メッセージ	OPEN02. mp3	設定された開店直前時刻に再生されるファイル
開店前	メッセージ	OPEN03. mp3	設定された開店前時刻に再生されるファイル
閉店店	メッセージ	CLOSE01. mp3	設定された閉店時刻に再生されるファイル
閉店直前	メッセージ	CLOSE02. mp3	設定された閉店直前時刻に再生されるファイル
閉店前	メッセージ	CLOSE03. mp3	設定された閉店前時刻に再生されるファイル

※上記表の「種類」がメッセージのファイルは、ファイル内の音声の前に「0.5 秒」、音声の後に「1 秒」の無音を、また「種類」がジングルのファイルは、前に「0.5 秒」の無音を追加しておく事をお勧めします。

これは、店舗内放送設備のミュートの関係で、ジングルやメッセージの頭の方が切れてしまう事がある為の措置です。

※ジングルとメッセージは上記表の様に分ける事もできますが、メッセージの中に埋め込む事ももちろん可能です。

ジングル用のファイルが不要の場合は、音声ファイルを準備する必要はありません。その他のメッセージも不要であればファイルを準備する必要はありません。

## ■ 外部接続

### □ ライン出力 □

背面パネルの「ライン出力」用RCAジャックに、付属の音声ケーブルのRCAプラグを接続します。音声ケーブルの反対側の太いプラグ(6.3φ)は、店舗の店内放送設備などのライン入力へ接続します。



ライン出力：1KΩ・-10dBV～+0dBV・不平衡・モノラル

### □ マイク出力 □

背面パネルの「マイク出力」用RCAジャックに、付属の音声ケーブルのRCAプラグを接続します。

音声ケーブルの反対側の太いプラグ(6.3φ)は、店舗の店内放送設備などのマイク入力へ接続します。



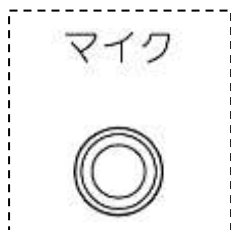
マイク出力：600Ω・-50dBV・不平衡・モノラル

※ マイク出力につきましては、接続先の機器により変換ケーブルなどを使用する必要があります。ご相談ください。

### □ マイク入力（マイクミキサー） □

フロントパネルの「マイク」入力ジャックに、6.3φ大型プラグのマイクを接続できます。（マイクは付属しておりません）

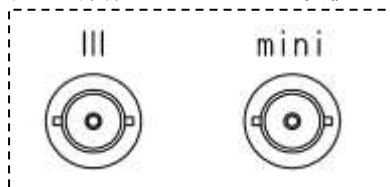
ミキシング機能を搭載していますので、背面パネルのライン出力またはマイク出力から店内放送設備へマイクの音声を出力することができます。



マイク入力：ダイナミック型ボーカルマイク  
600Ω・-50dBV・不平衡・モノラル

### □ アンテナ入力 □

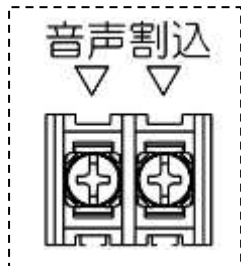
付属の無線機用アンテナを接続します。





## □ 音声割込み (Busy 信号) □

店内放送設備にミュート機能またはカット機能がある場合、「音声割込」信号を接続する事により、本システムの音声がかかっている間、店内放送や音楽などをミュート（消音）させる事ができます。



音声割込出力：無電圧接点（ノーマルオープン、最大 5A）

※本システムのメッセージが鳴っている間、接点が閉じます。

## □ 有線入力 □

本機は、無線以外にも有線接続もできます。

接続できる機器は、「無電圧接点」出力を持つ機器です。一般的な押しボタンスイッチやリレー接点などが接続できます。

最大 8 点まで入力可能です。

また応用で例えば万引き防止ゲートや万引き防止タグなど、外部接点出力を持つ機種であれば各種様々なセンサ類と接続することが可能です。

これらの外部センサを接続することにより、センサが反応した際に放送により素早く店員に知らせることが可能になります。

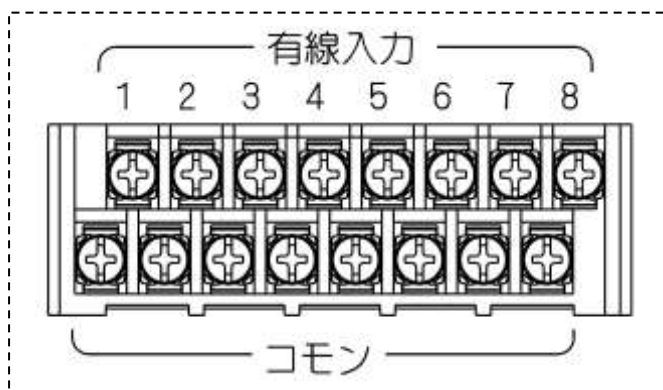
有線入力は CH 毎に反応時間を設定することができます。

（設定の方法は「有線入力の反応時間設定」のページを参照して下さい。）

センサが反応してすぐにメッセージを流したくない場合にこの機能を使用する事により、反応時間の調整が可能になります。設定可能時間は、0～99 秒です。

（「無電圧接点」以外の仕様のを接続しますと

破損する恐れがありますのでご注意ください。）

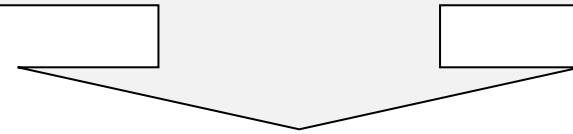


## ■ 故障かな？と思ったら

本機をご使用中にトラブルが発生した場合は、代理店などにご相談になる前に、下記の流れに沿ってチェックを試みてください。

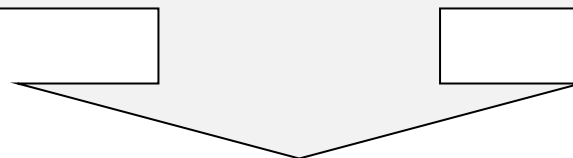
### 1 本書で調べる

この「故障かな？と思ったら」にて、該当する項目をチェックしてください。



### 2 それでも解決しないときは

お買い上げ店にご相談ください。ご相談になる場合は、なるべく詳しいトラブル内容をお伝えいただけますようお願いいたします。



## 本機のリセットについて

通常は本機をリセットする必要はありませんが、極まれに本機が異常終了して正常動作しなくなってしまう場合があります。このような場合は、本体の電源スイッチを OFF にして3秒ほど待ち、再度電源スイッチを ON して本機をリセットしてください。

設定されている内容は保持されますのでご安心ください。

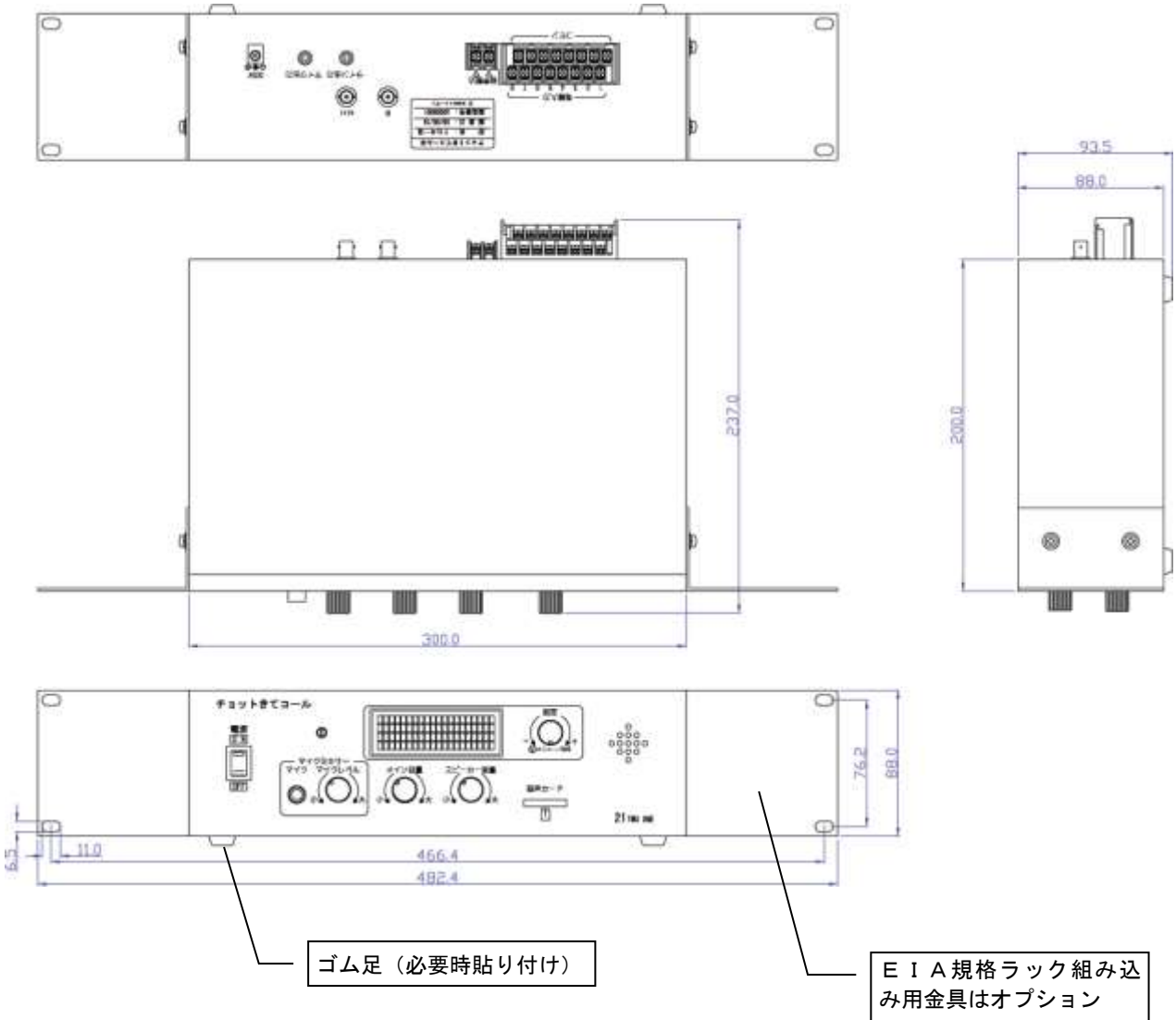
Q&A（よくある質問と回答）

このようにとき	対処のしかた
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ACアダプタを電源コンセントにしっかりと差し込む。また本体側のACアダプタ差し込み口もしっかりと差し込む。</li> <li>・ ACアダプタを差し込んでいる電源コンセントの電圧を調べる。(AC90V～132V)</li> </ul>
画面に文字が何も表示されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電源スイッチのランプが点いているか確認する。(点いていなかったら電源をONする。)</li> <li>・ 画面左側にあるコントラスト調整ツマミにてコントラストを調整する。</li> <li>・ 本体の電源スイッチを OFF にして3秒ほど待ち、再度電源スイッチを ON して本機をリセットする。</li> </ul>
設定ツマミを押してもメニューが表示されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本体の電源スイッチを OFF にして3秒ほど待ち、再度電源スイッチを ON して本機をリセットする。</li> </ul>
送信機で呼出スイッチを押したがメッセージが流れない	<p>画面に呼出ボタンを押した送信機の CH 番号が表示されていない場合は、以下の内容を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 呼出ボタンを押した送信機が正常に動作しているか確認する。また中継機経由で送信する送信機の場合は、中継機が正常に動作しているか確認する)</li> <li>・ 受信機タイプ TCRbasic の場合、有線接続されているスイッチ類が正常に動作しているか確認する。</li> <li>・ 受信レベルを確認する。(MENU内「レベルメータ」)</li> <li>・ 本機背面のアンテナコネクタに正常に接続されているか確認する。</li> <li>・ アンテナ線が断線していないか？または延長されている場合は、延長部が正常に接続されているか確認する。</li> </ul> <p>画面に呼出ボタンを押した送信機の CH 番号が表示されている場合は、以下の内容を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スピーカー音量を大きくして、内蔵スピーカーからメッセージが流れるか確認する。(内蔵スピーカーからメッセージが聞こえる場合は、放送設備との接続に問題がある可能性がある)</li> <li>・ メイン音量が正規の位置になっているか確認する。</li> <li>・ 本機と接続先の放送設備に正しくケーブルが接続されているか確認する。(接続先の放送設備のライン入力に接続する場合は本機のライン出力に、マイク入力に接続する場合は本機のマイク出力に接続されていること)</li> <li>・ 音声割り込みが正しく動作しているか確認する。(接続先の放送設備により、本機の音声割り込み接点出力で動作する場合や、音量レベルで自動的に動作する場合などがある)</li> <li>・ 接続先の放送設備の設定を確認する。</li> <li>・ SDカードが正しく差し込まれているか確認する。</li> <li>・ SDカードの内容が正しく登録されているか確認する。(MENU内「メッセージ代行」)</li> <li>・ 現在時刻、開店時間、閉店時間の設定を確認する。(閉店時間から開店時間の間はメッセージを出力しない仕様になっている)</li> </ul>
送信機で対応スイッチを押したがメッセージが流れない	<p>画面に対応ボタンを押した送信機の CH 番号が表示されている場合は、以下の内容を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対応ボタンを押した送信機が正常に動作しているか確認する。また中継機経由で送信する送信機の場合は、中継機が正常に動作しているか確認する)</li> <li>・ 受信レベルを確認する。(MENU内「レベルメータ」)</li> <li>・ 本機背面のアンテナコネクタに正常に接続されているか確認する。</li> <li>・ アンテナ線が断線していないか？または延長されている場合は、延長部が正常に接続されているか確認する。</li> </ul> <p>画面に対応ボタンを押した送信機の CH 番号が表示されていない場合は、以下の内容を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スピーカー音量を大きくして、内蔵スピーカーからメッセージが流れるか確認する。(内蔵スピーカーからメッセージが聞こえる場合は、放送設備との接続に問題がある可能性がある)</li> <li>・ メイン音量が正規の位置になっているか確認する。</li> <li>・ 本機と接続先の放送設備に正しくケーブルが接続されているか確認する。(接</li> </ul>

	<p>続先の放送設備のライン入力に接続する場合は本機のライン出力に、マイク入力に接続する場合は本機のマイク出力に接続されていること）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音声割り込みが正しく動作しているか確認する。（接続先の放送設備により、本機の音声割り込み接点出力で動作する場合や、音量レベルで自動的に動作する場合などがある）</li> <li>・ 接続先の放送設備の設定を確認する。</li> <li>・ SD カードが正しく差し込まれているか確認する。</li> <li>・ SD カードの内容が正しく登録されているか確認する。（MENU 内「メッセージサイト」）</li> <li>・ 現在時刻、開店時間、閉店時間の設定を確認する。（閉店時間から開店時間の間はメッセージを出力しない仕様になっている）</li> </ul>
<p>送信機で呼出・対応スイッチを押したときに違うメッセージが流れる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ SD カードの内容が正しく登録されているか確認する。（MENU 内「メッセージサイト」）</li> <li>・ 送信機の CH 設定が合っているか、本機の画面または送信機の設定スイッチで確認する。</li> <li>・ 複数の送信機から呼出しがないか確認する。（複数の送信機が操作されるとメッセージを順番に再生するのでしばらく待つ様子を見る）</li> </ul>
<p>送信機で呼出・対応スイッチを押していないのにメッセージが流れる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 流れているメッセージが定期放送、開店放送、閉店放送ではないか確認する。（これらのメッセージは送信機の操作に関係なく流れる）</li> <li>・ 画面に呼出中の送信機の CH 番号が表示されていないか確認する。（CH 番号が表示されている場合は、対応操作をしていない送信機があるので対応する送信機の対応スイッチを押す）</li> </ul>
<p>メッセージの音量が大きい(小さい)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本機のメイン音量を確認する。</li> <li>・ 音声割り込みが正しく動作しているか確認する。（接続先の放送設備により、本機の音声割り込み接点出力で動作する場合や、音量レベルで自動的に動作する場合などがある）</li> <li>・ 接続先の放送設備の設定を確認する。</li> </ul>
<p>マイクを繋いだ音が出ない</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ マイクの仕様を確認する。（接続可能なマイクは、ダイナミック型ボーマイク、600Ω、-50dBV、不平衡、モノラル）</li> <li>・ マイクが本機前面のマイク端子に正しく接続されているか確認する。</li> <li>・ スピーカー音量を大きくして、内蔵スピーカーからマイクの音が流れるか確認する。（内蔵スピーカーからマイクの音が聞こえる場合は、放送設備との接続に問題がある可能性がある）</li> <li>・ 本機と接続先の放送設備に正しくケーブルが接続されているか確認する。（接続先の放送設備のライン入力に接続する場合は本機のライン出力に、マイク入力に接続する場合は本機のマイク出力に接続されていること）</li> <li>・ 音声割り込みが正しく動作しているか確認する。（接続先の放送設備により、本機の音声割り込み接点出力で動作する場合や、音量レベルで自動的に動作する場合などがある）</li> <li>・ 接続先の放送設備の設定を確認する。</li> </ul>

■ 仕様

□ 外観図 □



□ 仕様一覧 □

型式	TCRⅢ	TCRⅡ	TCRmini	TCRbasic
定格電圧	DC5V（ACアダプタ：AC100V 50/60Hz 入力）			
消費電力	10W 以下			
有線入力	無電圧接点入力 8 点（背面端子台）			
アンテナ	BNC ジャック接続 50Ω ホイップアンテナ			—
周波数	426.02500～ 426.13750MHz の 10 波	426.025MHz	426.1MHz	—
受信方式	ダブルスーパー ヘテロダイン	ダブルスーパー ヘテロダイン	ダブルスーパー ヘテロダイン	—
中継機能	別途中継器 （TCREPⅢ-V2） にて可能	別途中継器 （TCREPⅡ） にて可能	別途中継器 （TCREPⅢ-V2） にて可能	—
送信機登録台数	無制限（登録不要）	31 台（ID 登録方式）	無制限（登録不要）	—
音声合成方式	MPEG Layer3 64kbit/s モノラル			
再生時間	音声メモリーカードの容量による			
マイク入力	ダイナミック型ボイカルマイク 600Ω・-50dBV・不平衡・モノラル			
音声マイク出力	600Ω -50dBV 不平衡 モノラル			
音声ライン出力	1KΩ -10dBV～+0dBV 不平衡 モノラル			
使用環境	屋内専用			
動作周囲温度	0℃～+40℃（RH85%以下 結露なきこと）			
外形寸法	外観図参照			
質量	約 2.5 kg			

※仕様・デザイン等は改良のため予告なく変更することがあります。

□ 付属品 □

- 受信アンテナ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 本
- ACアダプタ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 個
- 音声カード・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 枚
- 音声ケーブル（3m）・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 本
- 音声割込ケーブル（3m）・・・・・・・・・・・・ 1 本
- ゴム足・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 個